

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

令和2年度～令和6年度(5年間)

【令和6年度進捗状況】

遠 賀 町

目 次

第4期遠賀町自立推進計画行動計画について	1
第4期遠賀町自立推進計画の体系図	2
第4期遠賀町自立推進計画行動計画	3
推進項目1:財源の確保	3
推進項目2:国・県等の補助金の有効活用	6
推進項目3:歳出経費の効率化	9
推進項目4:公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化	11
推進項目5:社会保障制度及び特別会計の適切な運営	16
推進項目6:事務事業の取捨選択	18
推進項目7:補助金・負担金等の見直し	21
推進項目8:組織機構の見直し	24
推進項目9:職員の育成と意識改革	28
推進項目10:有効な外部委託の推進	30
推進項目11:指定管理者制度の有効活用	31
推進項目12:事務の効率化とICTの活用	32
推進項目13:住民参加型のまちづくり	35
推進項目14:地域コミュニティを核とした安心安全なまちづくり	38
推進項目15:多様な担い手の発掘と支援	40

行動計画における具体的取組の考え方

具体的取組	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
・ □□□の見直し		●	●	○	→	→
・ △△△の検討		●	●	●	○	→

「□□□」について、R3年度までに見直しの検討を行い、R4年度から見直しを実施する

「△△△」について、R5年度までに実施するかどうかの検討結果を決定する。実施すると

決定した場合は、R5年度以降に検討結果を実施する

第4期遠賀町自立推進計画行動計画について

1. はじめに

本町における行政改革については、第1期遠賀町自立推進計画(計画期間:平成17年度～平成21年度)及び第2期遠賀町自立推進計画(計画期間:平成22年度～平成26年度)により、行財政の健全化を目指した取り組みを効果的かつ計画的に推進してきました。

第3期遠賀町自立推進計画(計画期間:平成27年度～令和元年度)では、限られた行政資源を効率的・効果的に配分しながら行財政運営を行うとともに、人・もの等の資源や財源確保に努め、新しい行政需要や住民サービス向上に資する取り組みを推進してきました。

しかしながら、本町を取り巻く行財政環境は、急速に進む人口減少や少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や、公共施設等の老朽化などによって、一層厳しくなることが予想されます。

さらに、第4期計画中に駅周辺整備事業による投資的経費が増加するため、財政健全化に向けた取り組みが急務となっており、事業の取捨選択と経費削減が必須の状況であることから、早急に具体的施策を検討・実施する必要があります。

地方創生の時代に、限られた財源の中で多様化する住民ニーズや新たな行政課題への確に対応するには、持続可能な行財政運営に努め、財政基盤を強化し、住民の視点に立った選択と集中による真に必要な行政サービスの向上に努める必要があります。

これまで以上に改革意識を強めながら、行政改革を継続的に行うため、「遠賀町自立推進計画」を補完する「遠賀町自立推進計画行動計画」の取り組みを推進し、遠賀町の目指す将来像を実現します。

2. 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間



3. 具体的目標

令和4年度以降の決算において、財政調整基金の繰り入れを行わない。

4. 取り組みの進め方

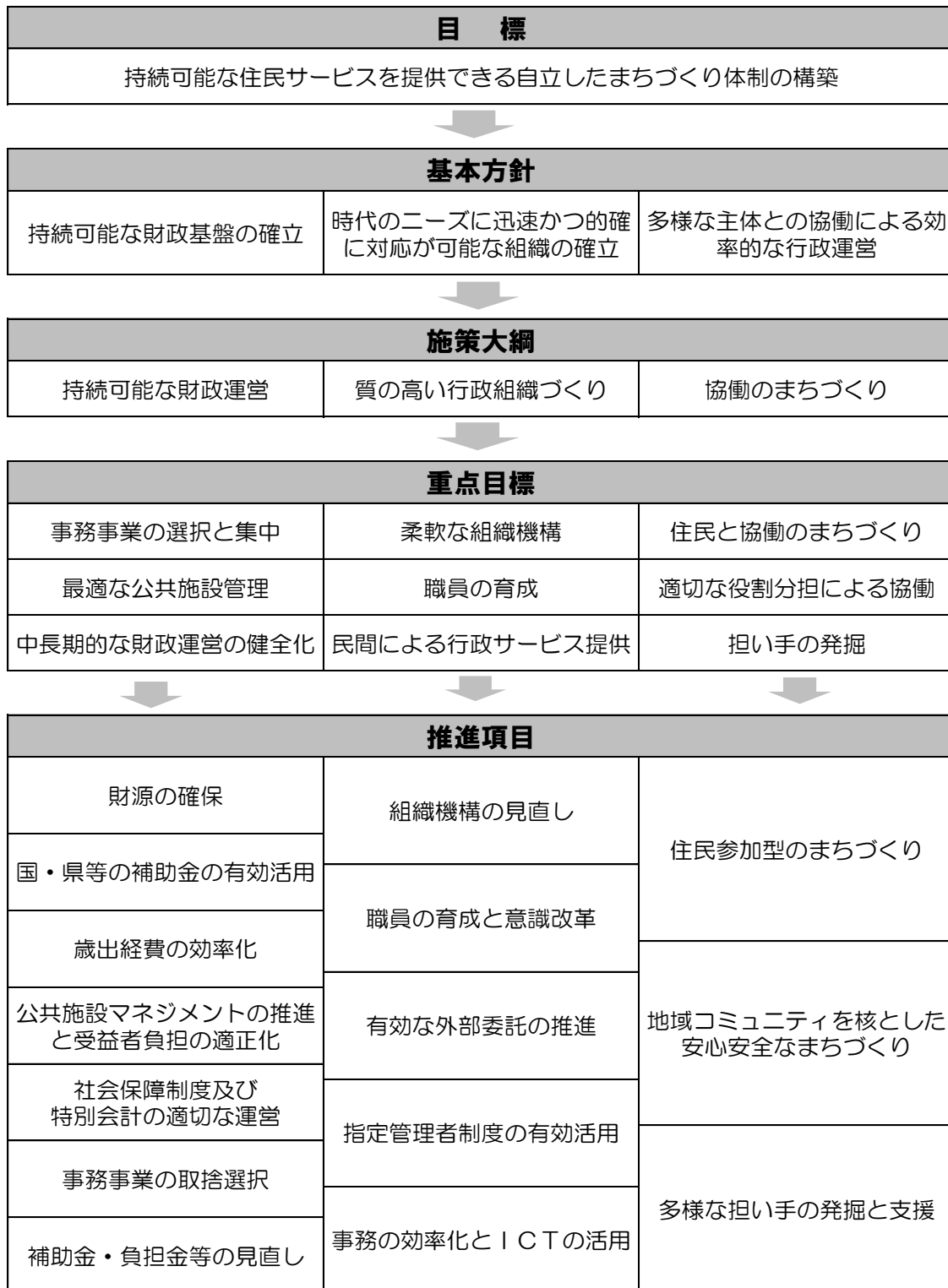
令和2年度第1四半期を目途に、主に事務事業評価対象事業について取捨選択を行います。また、これまでの年1回の検証を行うだけでなく、全庁的な項目や特に重要な取り組みについては、定期的な進捗管理ができる仕組みを構築します。

計画に掲げる推進項目に沿って実施する具体的取組を3ページ以降のとおりとします。また、実施事項や具体的取組は必要に応じて追加するものとします。

5. 進捗管理及び公表

住民代表を含む行政改革推進委員会を設置し、毎年、進捗状況の点検協議を行い、実績等を加えた進捗状況をホームページ等で公表します。

第4期遠賀町自立推進計画の体系図



第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 1 財源の確保

具体的取組		1-1	未利用町有地等の売却や有効活用					重点	
取組内容		財産の有効活用の観点から、未利用地財産の売却や、売却ができない場合は貸付等を行うことにより、自主財源の確保を図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 若葉台(元公民館用地)売却		●	○	→	→	→	管財係		
② 緑ヶ丘町有地の売却又は貸付		●	●	●	○	→	管財係		
③ ふれあいの里南側用地の売却又は貸付の検討		●	●	●	○	→	管財係 福祉高齢者支援係		
期待する効果等		歳入の確保							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①・②	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●		
	取組実績(内容)	・若葉台用地を分筆して売却整理を実施 ・企業誘致誘発台帳を活用し、購入希望者等に説明を実施 ・町有地の貸付等により有効活用を図った	・企業誘致誘発台帳を活用し、売却促進を図った(若葉台・緑ヶ丘は未売却) ・公共事業残地の売払いを隣接者に行った ・町有地の貸付等により有効活用を図った	・企業誘致誘発台帳を活用し、売却促進を図った(若葉台・緑ヶ丘は未売却) ・公共事業残地や未利用町有地等の売払いを隣接者に行った ・武道場(土地・建物共)を企業に売払い、地域の活性化を図った	・企業誘致誘発台帳を活用し、購入希望者等に説明を実施(若葉台・緑ヶ丘は未売却) ・町有地の貸付により有効活用を図った	・企業誘致誘発台帳を活用し、購入希望者等に説明を実施(若葉台・緑ヶ丘は未売却) ・町有地の貸付により有効活用を図った			
	数値実績または効果	・若葉台未売却 ・購入相談件数:3件 ・貸付額:8,946千円	・購入相談件数:2件 ・売却額:2,330千円 ・貸付額:8,601千円	・購入相談件数:4件 ・売却額:85,242千円 ・貸付額:8,715千円	・購入相談件数:2件 ・売却額:0千円 ・貸付額:8,734千円	・購入相談件数:1件 ・売却額:0千円 ・貸付額:9,014千円			
③	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●		
	取組実績(内容)	「福祉の里づくり計画」等の精査を行い、普通財産への転換等を検討	引き続き、普通財産への転換等を検討	引き続き、普通財産への転換等を検討	引き続き、普通財産への転換等を検討	引き続き、普通財産への転換等を検討			
	数値実績または効果		・購入相談件数:1件	＜管財係＞ 購入相談件数:1件 ＜福祉高齢者支援係＞ 購入相談件数:なし	＜管財係＞ 購入相談件数:1件 ＜福祉高齢者支援係＞ 購入相談件数:なし	＜管財係＞ 購入相談件数:なし			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 1		財源の確保					
具体的取組 1-2		企業誘致の推進					重点
取組内容		土地所有者と企業とのマッチングを行うとともに、金融機関等の関係機関と連携し、企業立地を促進することで雇用や税収の確保を図る。					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① 民有地への誘致方策の具体的な検討と実施		●	○	→	→	→	商工振興係
期待する効果等		歳入の確保、雇用の場の確保					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●	
	取組実績（内容）	遠賀信用金庫・JA北九と民有地における所有者の売却の意向について情報交換を実施	金融機関との情報共有のあり方について検討	広渡地区の農地（民有地）について企業誘致の可能性を検討	金融機関との情報共有のあり方について検討	金融機関等の関係機関との情報共有のあり方について検討	
	数値実績または効果	企業誘致条例適用事業所件数:0件	企業誘致条例適用事業所件数:0件	企業誘致条例適用事業所件数:0件	企業誘致条例適用事業所件数:0件	企業誘致条例適用事業所件数:0件	

具体的取組 1-3		豊かなふるさと遠賀寄附金の充実					
							重点
取組内容		豊かなふるさとおんが寄附金の拡大を図り、寄附件数の更なる増加による地域活性化及び歳入増加につなげる。 目標:令和6年度に寄附額30,000千円					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① 町内返礼品の充実		○	→	→	→	→	企画係
② 県認定返礼品の活用		○	→	→	→	→	企画係
③ 体験型返礼品の創設検討		●	●	○	→	→	企画係
期待する効果等		自主財源の確保、地域経済の活性化、町の知名度向上					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
① ②	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績（内容）	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施	返礼品の充実と県認定返礼品を活用実施	
	数値実績または効果	寄附額:72,384千円	寄附額:329,791千円	寄附額:500,879千円	寄附額:679,827千円 新規返礼品登録数:330件	寄附額:953,512千円 新規返礼品登録数:260件	
③	取組状況		検討●	実施○	見直し→	進捗管理→	
	取組実績（内容）		事業者と協議したが条件面が折り合わず創設を見送った	おんが病院と協議し、創設した	R5.10月～総務省の基準変更に伴い、おんが病院の体験型返礼品が対象外となったため、返礼品から除外した		
	数値実績または効果			胃がん検診や乳がん検診等の返礼品7つを新設。寄附件数:0件			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 1 財源の確保

具体的取組		1-4	窓口手数料等の見直し					重点
取組内容		窓口における手数料や減免基準について、近隣市町村の状況も踏まえて見直しが必要か検討する。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 窓口発行手数料の見直し検討		●	○	→	→	→	税務課	
② 窓口発行減免基準の見直し検討		●	○	→	→	→	税務課 住民係	
期待する効果等		自主財源の確保						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	住宅用家屋証明(専用住宅証明)手数料の見直しを検討	住宅用家屋証明(専用住宅証明)手数料の見直しを検討					
	数値実績 または効果	根拠法令等が現在無く、郡内3町は見直しをしないことを確認したため見送り	検討の結果、見直しを行わないこととした					
②	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●		
	取組実績 (内容)	減免基準の見直し検討を行ったが、公共施設使用料等の見直しとの関係上保留	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、減免基準の見直しについては保留	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、減免基準の見直しについては保留	物価高騰の影響を踏まえ、減免基準の見直しについては保留	物価高騰の影響を踏まえ、減免基準の見直しについては保留		
	数値実績 または効果							

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目		1 財源の確保							
具体的取組		1-5	クラウドファンディング等新たな財源の検討					重点	
取組内容		クラウドファンディング等による財源確保の検討を行う。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① クラウドファンディング等の検討			●	●	●	○	→	関係課	
期待する効果等		自主財源の確保							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況				実施○	実施○			
	取組実績 (内容)				基金の一部を一括管理することにより、債券運用を開始した	〈産業振興係〉 遠賀町夏まつり時に、発数増に必要な花火の購入・打ち上げ費用に充てるため、クラウドファンディングを実施 〈会計係〉 一括運用している基金を活用し、運用する債券を増やした。			
	数値実績 または効果					〈産業振興係〉 寄附金額:590千円 〈会計係〉 債券運用利子収入:690千円			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

具体的取組		2-1	国・県等の補助金等の有効活用(新たな財源確保)					重点		
取組内容		新規事業を行う場合は、国・県等の補助金等を検討し、町事業への有効活用を図る。また、新たな補助金等による事業を創設する場合は、既存の類似事業等の見直しや廃止を行う。								
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 今後、新たな事業を行う場合は、国・県等の補助金等を検討するとともに、あわせて既存の類似事業等の見直しや廃止を行い財源を捻出する。		○		→	→	→	→	関係課		
期待する効果等		歳出額の削減								
年次計画		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度
①	取組状況	実施○		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→
	取組実績(内容)	＜企画係＞ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して感染拡大を防止し、影響を受けている地域経済や住民生活を支援		＜企画係＞ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して感染拡大を防止し、影響を受けている地域経済や住民生活を支援		＜企画係＞ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して感染拡大を防止し、影響を受けている地域経済や住民生活を支援		＜企画係＞ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、影響を受けている地域経済や住民生活を支援		＜企画係＞ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、影響を受けている地域経済や住民生活を支援 個性ある地域づくり推進事業を活用して、60周年記念事業を行った。
	数値実績 または効果	交付金:344,836千円 (R3へ一部繰越)		交付金:141,758千円 (R4へ一部繰越)		交付金:258,384千円		新型コロナ交付金: 141,617千円 物価高騰交付金: 226,914千円		物価高騰交付金: 318,970千円 個性ある補助金:3,711千円
①	取組状況					実施○		実施○		
	取組実績(内容)					＜情報推進係＞ 行政手続きオンライン化に伴うシステム対応等を行うにあたり、デジタル基盤改革支援補助金を活用した。		＜情報推進係＞ 地方公共団体情報システムの標準化・共通化における文字同定作業及びFit & Gap検証作業を行うにあたり、デジタル基盤改革支援補助金を活用した。		＜情報推進係＞ 地方公共団体情報システムの標準化・共通化移行対応業務及びガバメントクラウド回線の構築業務等を行うにあたり、デジタル基盤改革支援補助金を活用した。
	数値実績 または効果					交付金:4,446千円		交付金:6,244千円		交付金:35,988千円
①	取組状況	実施○		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→		
	取組実績(内容)	＜環境衛生係＞ 不法投棄防止パトロール事業に不法投棄未然防止事業助成金を活用		＜環境衛生係＞ 不法投棄防止パトロール事業に不法投棄未然防止事業助成金を活用		＜環境衛生係＞ 不法投棄防止パトロール事業に不法投棄未然防止事業助成金を活用		＜環境衛生係＞ 不法投棄防止パトロール事業に不法投棄未然防止事業助成金を活用		＜環境衛生係＞ 不法投棄未然防止事業助成金の延長受給期間終了により実施回数も減。
	数値実績 または効果	助成金:541千円 (不法投棄回収量2,890kg)		助成金:507千円 (不法投棄回収量2,920kg)		助成金:395千円 (不法投棄回収量2,760kg)		助成金:416千円 (不法投棄回収量2,605kg)		助成金:0千円 (不法投棄回収量1,410kg)

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

	取組状況	実施○		実施○		実施○
①	取組実績 (内容)	＜子育て支援係＞ 子ども・子育て支援整備交付金(国)、放課後児童クラブ室施設整備補助金(県)を活用し各学童保育クラブに防犯カメラを設置		＜子育て支援係＞ おんがみらいテラス3階の遊戯室への大型遊具の設置をコミュニティ助成を活用して実施した。		＜こども家庭センター係＞ 町内のこども食堂への補助金交付を母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金を活用して実施した。 ＜子育て支援係＞ 遠賀町こども計画の策定に際して国庫補助金を活用して実施した。
	数値実績 または効果	補助金等 国:366千円 県:366千円		助成額:10,000千円		＜こども家庭センター係＞ 補助額:843千円 ＜子育て支援係＞ 助成額:1,275千円
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	＜都市計画係＞ ・コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用 ・遠賀町に定住することを目的とした人に対し、奨励金を交付するにあたり、社会資本整備総合交付金を活用	＜都市計画係＞ コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用 ＜広報係＞ 遠賀町に定住することを目的とした人に対し、奨励金を交付するにあたり、社会資本整備総合交付金を活用	＜都市計画係＞ コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用	＜都市計画係＞ コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用	＜都市計画係＞ コミュニティバスの運行及び車両更新で地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用
①	数値実績 または効果	・運行経費補助 7,865千円 車両更新補助 208千円 (R2～8まで受入) ・奨励金:7,120千円	・運行経費補助 7,865千円 車両更新補助 (R2～9まで受入) 3,676千円(2台分) ＜広報係＞ 奨励金:5,610千円	・運行経費補助 5,846千円 車両更新補助 (R2～9まで受入) 3,701千円(2台分)	・運行経費補助 4,246千円 車両更新補助 (R2～9まで受入) 2,468千円(2台分)	・運行経費補助 4,546千円 車両更新補助 (R2～9まで受入) 1,648千円(2台分)
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	＜建設課＞ 国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望	＜建設課＞ 国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望	＜建設課＞ 国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望	＜建設課＞ 国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望	＜建設課＞ 国・県等の補助金等の活用を目指して協議。また継続事業の補助金増額を要望
①	数値実績 または効果	・社会資本整備総合交付金(道路、町営住宅、公園) 補助額:207,851千円	・社会資本整備総合交付金(道路、橋梁、公園) 補助額:178,433千円	・社会資本整備総合交付金(道路、町営住宅、橋梁) 補助額:92,326千円	・社会資本整備総合交付金(道路、町営住宅、橋梁) 補助額:142,808千円	・社会資本整備総合交付金(道路、町営住宅、橋梁) 補助額:118,726千円

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
①	取組実績 (内容)	<駅周辺都市整備推進室> ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、(仮称)交流センターの基本設計、実施設計、用地買収・移転補償を実施 ・都市構造再編集集中支援事業を活用し、駅北広場改修、ペDESTリアンデッキ等建設を実施	<駅周辺都市整備推進室> ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、おんがみらいテラスの用地買収・移転補償および建設工事等を実施 ・都市構造再編集集中支援事業を活用し、駅北広場改修、ペDESTリアンデッキ等建設工事を実施	<駅周辺都市整備推進室> ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、おんがみらいテラスの用地買収・移転補償および建設工事等を実施 ・都市構造再編集集中支援事業を活用し、駅南地区防災水路および防災管路の詳細設計・工事を実施	<駅周辺都市整備推進室> ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、おんがみらいテラスが完成 ・都市構造再編集集中支援事業を活用し、駅南地区防災水路および防災管路の詳細設計・工事を実施	<駅周辺都市整備推進室> ・都市構造再編集集中支援事業を活用し、回遊路ならびに防災管路の詳細設計、防災水路、回遊路及び防災管路の工事を実施
	数値実績 または効果	・補助金: 88,830千円(R3へ一部繰越) ・補助金: 65,302千円(R3へ一部繰越)	・補助金: 252,372千円(R4へ一部繰越) ・補助金: 147,296千円	・補助金: 733,768千円 ・補助金: 87,620千円	・補助金: 0千円(事業完了のため) ・補助金: 0千円(年度間調整のためR5はなし)	・補助金: 71,900千円
	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
①	取組実績 (内容)	<学校教育係> ・小中校内LAN整備 ・児童生徒用端末等ICT機器の整備 ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置	<学校教育係> ・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置 ・学校等における感染対策支援事業	<学校教育係> ・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置 ・学校等における感染対策支援事業	<学校教育係> ・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置 ・学校等における感染対策支援事業	<学校教育係> ・ICT機器の活用を図るためGIGAスクールサポーターの配置 ・福岡県道徳事業の課題に応じた市町村による実践的研究の実施
	数値実績 または効果	・校内LAN整備 24,573千円 ・情報機器整備等 48,473千円 ・端末整備台数 1042台(補助金分)	・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 1,400千円 ・公立学校情報機器整備費(GIGAスクールサポーターの配置)補金 3,069千円 ・学校保健特別対策事業費(学校等における感染対策支援事業) 2,925千円	・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 1,400千円 ・公立学校情報機器整備費(GIGAスクールサポーターの配置)補金 4,679千円 ・学校保健特別対策事業費(学校等における感染対策支援事業) 2,925千円	・個別最適化学びを実現小中学校教育ICT化推進 1,400千円 ・公立学校情報機器整備費(GIGAスクールサポーターの配置)補金 875千円 ・学校保健特別対策事業費(学校等における感染対策支援事業) 2,700千円	・公立学校情報機器整備費(GIGAスクールサポーターの配置)補金 693千円 ・福岡県道徳教育推進事業補助金 400千円

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
①	取組実績 (内容)	〈生涯学習課〉 おんがレガッタ、スポレクおんが、島津のヤマザクラ環境整備及び観月コンサート代替事業で補助金等の活用を検討し、R3採択決定	〈生涯学習課〉 観月コンサート代替事業(島津丸山歴史自然公園ヤマザクラライトアップ事業)で、福岡県宿泊税交付金活用 おんがレガッタ【中止】 スポレクおんが【中止】	〈生涯学習課〉 ・観月コンサート代替事業(島津丸山歴史自然公園ヤマザクラライトアップ事業)で、福岡県宿泊税交付金活用 ・おんがレガッタでスポーツ振興くじ助成金を活用 ・図書館のビブリオバトル等に県補助金(子どもの読書習慣形成・定着支援事業補助金)活用 ・活動体験教室に県委託金(鍛ほめ通学合宿の在り方に関する調査研究委託金)を活用 ・スロージョギング教室に県補助金(地域における運動習慣定着促進事業費補助金)活用	〈生涯学習課〉 ・森林環境譲与税を活用し、島津・丸山歴史自然公園の整備及び普及・啓発を行った ・おんがレガッタでスポーツ振興くじ助成金を活用した ・スマートフォン教室に情報通信技術講習事業補助金を活用 ・読書講座等に読書好きを育む環境づくり応援事業補助金を活用 ・活動体験教室に市町村体験活動支援事業を活用	〈社会教育係〉 ・森林環境譲与税を活用し、島津・丸山歴史自然公園の整備及び普及・啓発を行った ・活動体験教室に市町村体験活動支援事業を活用 〈スポーツ文化係〉 ・おんがレガッタでスポーツ振興くじ助成金を活用した ・障害者スポーツ実施環境の構築支援事業補助金を活用してスポーツ用具を購入した。
	数値実績 または効果	おんがレガッタ1,835千円 スポレクおんが560千円 島津のヤマザクラ環境整備及び観月コンサート代替事業 各500千円	福岡県宿泊税交付金1,000千円 おんがレガッタ:644千円 スポレクおんが:取り下げ	福岡県宿泊税交付金1,364千円 スポーツ振興くじ助成金:3,831千円 子どもの読書習慣形成・定着支援事業補助金:72千円 鍛ほめ通学合宿の在り方に関する調査研究委託金:100千円 地域における運動習慣定着促進事業費補助金:36千円	・森林環境譲与税954千円 ・スポーツ振興くじ助成金 3,535千円 ・情報通信技術講習事業補助金 28千円 ・読書好きを育む環境づくり応援事業補助金 20千円 ・市町村体験活動支援事業 84千円	〈社会教育係〉 ・森林環境譲与税507千円 ・市町村体験活動支援事業 141千円 〈スポーツ文化係〉 ・スポーツ振興くじ助成金 2,925千円 ・障害者スポーツ実施環境の構築支援事業補助金1,174千円
①	取組状況				実施○	
	取組実績 (内容)				〈課税係〉 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、定額減税補足給付金に係るシステム改修を行った	
	数値実績 または効果				交付金:895千円	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 2 国・県等の補助金の有効活用

①	取組状況				実施○	実施○
	取組実績 (内容)				<商工振興係> ①観光パンフレット刷新事業に福岡県宿泊税交付金を活用 ②遠賀町商工会への活性化イベント事業補助金に地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業助成金を活用	<商工振興係> ①遠賀町町制施行60周年記念事業に福岡県宿泊税交付金を活用 ②遠賀町商工会への活性化イベント事業補助金に地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業助成金を活用 ③遠賀町商工会への遠賀川駅前イルミネーション設置補助金・魅力発信事業補助金に移住・定住・交流推進支援事業助成金を活用
①	数値実績 または効果				①192千円 ②1,500千円	①1,966千円 ②1,500千円 ③2,000千円
①	取組状況				実施○	実施○
	取組実績 (内容)				<福祉高齢者支援係> ・遠賀町高齢者アンケート調査等業務:地域支援事業配分金を活用 ・シルバー人材センター補助金:地域社会振興財団人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金を活用 ・買物困難者対策移動販売事業:県買物弱者対策導入支援事業費補助金を活用	<福祉高齢者支援係> ・買物困難者対策移動販売事業:県買物弱者対策導入支援事業費補助金を活用
①	数値実績 または効果				・アンケート分地域支援事業配分金:997千円 ・人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金:3,000千円 ・買物弱者対策導入支援事業費補助金:254千円	・買物弱者対策導入支援事業費補助金:374千円

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 3 歳出経費の効率化

具体的取組		3-1	経費の節減合理化					重点	
取組内容		各種職員手当等や事務的経費等について、一層の効率化・合理化のため経費節減の工夫を行い、経費の見直しを図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 枠予算制度の検討		●	○	→	→	→	財政係		
② 郵便代の削減(メールの活用検討)		●	○	→	→	→	全課		
③ 各種職員手当の見直し		○	→	→	→	→	人事秘書係		
④ コピー機等事務機器の調達方法の工夫		●	●	○	→	→	庶務法制係 情報推進係		
⑤ 小中学校の事務的経費(需用費等)削減の検討		●	●	○	→	→	学校教育係		
期待する効果等		歳出額の削減							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	予算編成方針の中で、経費削減の基本的事項を明示し、歳出予算の削減を実施	事務事業評価の総事業費を枠予算として、予算編成後の歳入歳出予算の状況により、事業の削減を図った	事務事業評価の総事業費を枠予算として、予算編成後の歳入歳出予算の状況により、事業の削減を図った	事務事業評価の総事業費を枠予算として、予算編成後の歳入歳出予算の状況により、事業の削減を図った	事務事業評価の総事業費を枠予算として、予算編成後の歳入歳出予算の状況により、事業の削減を図った			
	数値実績 または効果	R3当初予算(全会計) 基金繰入金:386,375千円 R2当初:961,748千円 R2実績:732,905千円	R4当初予算(全会計) 基金繰入金:435,853千円 R3当初:386,375千円 R3実績:136,884千円	R5当初予算(全会計) 基金繰入金:448,551千円 R4当初:435,853千円 R4実績:293,054千円	R6当初予算(全会計) 基金繰入金:536,306千円 R5当初:448,551千円 R5実績:264,621千円	R7当初予算(全会計) 基金繰入金:662,937千円 R6当初:536,306千円 R6実績:376,483千円			
③	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	地域手当廃止							
	数値実績 または効果	削減額:約13,730千円							
④	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	実施○	実施○			
	取組実績 (内容)	番号利用系端末更新にあわせて台数及び仕様等を精査	インターネット系端末調達の際にリース入れを実施	令和4年度は、端末の更新なし	LGWAN系プリンター更新の際、仕様・性能が同様の安価なモデルを選定することで事業費の削減を図った。	<庶務法制係>新しいコピー機(オルフィス)を導入し、事務の効率化を図った。また、コピー用紙一元化により、コスト削減を図った。			
	数値実績 または効果	削減額:1,281千円	削減額:299千円		削減額:484千円	削減額:150千円			
⑤	取組状況	検討●	実施○	実施○	実施○	実施○			
	取組実績 (内容)	ICT機器導入に伴いどのような経費の削減が図れるか検討中	プリンター利用に伴うコピー機使用料(使用枚数)の減	プリンター利用に伴うコピー機使用料(使用枚数)の減	プリンターリース機器変更による機器使用料の削減	プリンターリース機器変更による機器使用料の削減			
	数値実績 または効果		削減額:182千円	削減額:169千円	削減額:668千円	削減額:685千円			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 3 歳出経費の効率化

具体的取組		3-2	計画的な基金の取り崩し					重点	
取組内容		令和4年度以降は基金(財政調整基金・減債基金)の繰り入れに頼らない予算編成を行う。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 各基金の計画的な運用を図る			●	●	○	→	→	財政係	
期待する効果等		歳出額の削減、健全な財政運営							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	財政調整基金の残高目安を6億円と定め、年度間の財源不足に活用することができたものの、基金の積立額に対して取崩額が多く、基金残高は減少 財政調整基金残高743,106千円	R3年度の財政措置として交付された普通交付税を減債基金へ積立てを行った。次年度以降、国から示された考え方に基づき、減債基金からの取崩しを行うことにより活用する	後年度の公債費負担の軽減のため減債基金に約6千7百万円の積立てを行ったものの、新型コロナ及び物価高騰による非常時の対応のため、財政調整基金約7千9百万円の取崩しを行った	後年度の公債費負担の軽減のため減債基金に約2億5千2百万円の積立てを行った。また、財政調整基金の取崩しを行うことなく財政運営することができた。	後年度の公債費負担の軽減のため減債基金に約2億6千8百万円の積立てを行った。また、財政調整基金の取崩しを行うことなく財政運営することができた。			
	数値実績 または効果	財政調整基金・減債基金 積立額:384,297千円 取崩額:441,745千円	財政調整基金・減債基金 積立額:116,291千円 取崩額:0千円	財政調整基金・減債基金 積立額:67,343千円 取崩額:79,199千円	財政調整基金・減債基金 積立額:252,738千円 取崩額:0千円	財政調整基金・減債基金 積立額:289,303千円 取崩額:0千円			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 3 歳出経費の効率化									
具体的取組		3-3	地方債の有効活用(歳出の平準化)					重点	
取組内容		起債を実施しても必要な事業か、将来世代に返済を負担してまで実施が必要な事業かを十分精査し、景気の動向、歳入の動向等を踏まえながら判断し、地方債と償還のバランス等の適切な対応を図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 真に必要な起債事業の精査			○	→	→	→	→	財政係	
期待する効果等		健全な財政運営							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	中学校体育館指定避難所トイレ改修事業や消防車両整備事業などの緊急防災・減災事業債をはじめ、緊急自然災害防止対策債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施	みらいテラス建設事業や防災行政無線整備事業への緊急防災・減災事業債の活用をはじめ、公共施設適正管理推進事業債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施	駅南基盤整備事業や中学校体育館整備事業への緊急防災・減災事業債の活用をはじめ、緊急自然災害防止対策事業債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施	駅南基盤整備事業や小中学校体育館LED化事業への緊急防災・減災事業債の活用をはじめ、公共施設適正管理推進事業債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施	駅南基盤整備事業への緊急防災・減災事業債の活用をはじめ、緊急自然災害防止対策事業債など、交付税措置の有利な起債を活用し、歳出の平準化を実施			
	数値実績 または効果	普通会計 年度末起債残高： 6,576,835千円 (前年比：△11,862千円)	普通会計 年度末起債残高： 6,675,142千円 (前年比：98,307千円増)	普通会計 年度末起債残高： 6,358,429千円 (前年比：△316,713千円)	普通会計 年度末起債残高： 6,057,676千円 (前年比：△300,753千円)	普通会計 年度末起債残高： 5,864,173千円 (前年比：△193,503千円)			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

具体的取組		4-1	遠賀町公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく公共施設の計画管理					重点	★
取組内容		平成26年度に策定した「遠賀町公共施設等総合管理計画」に沿って、施設の適正配置や統廃合を含めた計画的かつ効率的な管理に取り組み、施設の老朽化による財政負担の軽減及び平準化を図る。また、令和2年度までに策定が義務づけられている「個別施設計画」を策定することにより、個別施設ごとの維持管理・修繕・更新等に係る取組方針や具体的な実施内容、時期等を示し、施設の計画的な管理を行う。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 個別施設計画の策定と計画的な管理		○	→	→	→	→	財政係		
② 総合管理計画の見直しと推進体制の構築		●	●	○	→	→	財政係		
③ 施設及び類似機能の統廃合の検討		●	●	●	○	→	企画係		
④ 施設の広域利用のあり方検討		●	●	●	●	○	企画係		
⑤ ふれあい広場トイレの廃止		●	○	→	→	→	建設課		
⑥ 開発公園用地の売却検討		●	●	●	●	○	建設課		
⑦ 駅前サービスセンターとぐっぴいをおながみらいテラスへ統合		●	●	●	○	→	企画係 商工振興係 子育て支援係		
⑧ 起業支援施設のあり方検討		●	○	→	→	→	商工振興係		
⑨ 食育交流・防災センターの施設利用率向上		●	○	→	→	→	食育交流・防災センター係		
期待する効果等		計画的な公共施設管理、経費の低廉化・平準化							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績（内容）	施設カルテ更新と各施設の方針をまとめ個別施設計画を策定	施設カルテを更新して、計画見直しの資料に活用	個別施設計画（インフラ資産）の内容を、計画見直しの資料に活用	個別施設計画の内容を確認し、計画的な公共施設管理に活用	個別施設計画の内容を確認し、計画的な公共施設管理に活用			
	数値実績または効果	全81施設の個別計画策定	国が示す必須項目を追加	国が示す必須項目を追加	国が示す必須項目を追加				
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績（内容）	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った	長寿命化計画等による維持補修、改良工事等を行い、長寿命化を図った			
	数値実績または効果	・道路：17,901千円 ・橋梁：28,318千円 ・町営住宅：6,490千円	・道路：25,219千円 ・橋梁：45,353千円	・橋梁：19,768千円 ・町営住宅：7,150千円	・橋梁：12,963千円 ・町営住宅：51,118千円	・橋梁：10,366千円 ・町営住宅：6,930千円			
②	取組状況	検討●	実施○	実施○	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績（内容）	総合管理計画の検討には至らなかった	国の事業を活用して、一部計画の見直しを行った	国の事業を活用して、計画の見直しを行った	公共施設等総合管理計画の検討部会を開催し、情報共有を行った。	公共施設等総合管理計画の検討部会を開催し、情報共有を行った。			
	数値実績または効果		国が示す必須項目を追加	国が示す必須項目を追加					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化						
③	取組状況			実施○		
	取組実績 (内容)			＜協働人權係＞ 老朽化に伴う別府農業用倉庫、別府作業所の解体を行った		
	数値実績 または効果			解体費用:3,190千円 解体に伴う家屋事前調査費用:1,188千円		
④	取組状況			検討●	実施○	
	取組実績 (内容)			郡内4町で電子図書館のR5年度中の利用開始に向けて協議を行った	郡内4町で電子図書館の利用を開始	
	数値実績 または効果			協議回数:5回	個性ある地域づくり推進事業補助金:1,711千円	
⑤	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績 (内容)	地方創生臨時交付金を活用し、既設トイレを撤去後、水洗化トイレを設置(R3へ繰越)	既設トイレ撤去後、水洗化トイレ設置完了			
	数値実績 または効果					
⑦	取組状況	検討●	検討●	実施○	実施○	実施○
	取組実績 (内容)	(仮称)交流センターの基本設計及び実施設計において検討	＜商工振興係＞ R5からおんがみらいテラスへの駅前サービスセンター機能の移転準備を進めている ＜子育て支援係＞ 子育て支援事業に関する仕様書の検討に参画	＜商工振興係＞ R5からおんがみらいテラスへ移転する駅前サービスセンター機能を決定 駅前サービスセンター廃止後の利活用について、チャレンジショップとして整備する方針を決定 ＜子育て支援係＞ 子育て支援広場「ぐっぴい」について、ふれあいの里から、おんがみらいテラスへの移転を決定し、移設準備を行った。「ぐっぴい」跡地については社協の事務所として活用。	＜商工振興係＞ R5からおんがみらいテラスへ決定した駅前サービスセンター機能を移転 駅前サービスセンターをチャレンジショップとして整備 ＜子育て支援係＞ 子育て支援広場「ぐっぴい」をおんがみらいテラスに移転した。「ぐっぴい」跡地は社協の事務所として活用した。また、庁舎内にあった学童保育の事務局をふれあいの里内クラブ室2に移転し、庁舎内跡地を消費生活相談室に提供した。	＜商工振興係＞ R5からおんがみらいテラスへ決定した駅前サービスセンター機能を移転 チャレンジショップの営業を開始 ＜こども家庭センター係＞ 子育て支援広場「ぐっぴい」をおんがみらいテラスに移転し2年目。
	数値実績 または効果		ぐっぴい利用者:2,172人	ぐっぴい利用者:3,172人	ぐっぴい利用者:24,953人	ぐっぴい利用者:25,503人

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化						
⑧	取組状況	検討●	検討●	検討●	実施○	実施○
	取組実績 (内容)	今後の在り方を検討中	今後の在り方を検討中	起業支援施設の相談体制について、R5からリモート相談に移行することを決定	起業支援施設の相談体制について、R5からリモート相談に移行	起業支援施設の相談体制について、R5からリモート相談に移行
	数値実績 または効果			削減額:5,291千円 R4実績:7,851千円 R5予算:2,560千円	削減額:5,306千円 R4実績:7,852千円 R5実績:2,546千円	削減額:5,057千円 R4実績:7,852千円 R6実績:2,795千円
⑨	取組状況	検討●	検討●	実施○	実施○	実施○
	取組実績 (内容)	新型コロナのため中央公民館利用ができなくなった方々の一般利用が増加したが、年間利用者数は減少	新型コロナの影響により、有料利用6件がキャンセルとなった。	食進会「おながめしの動画撮影」による定期的な利用があり、前年度より利用者数は増加した。休日等開館を検討したが、管理・経費面から厳しいと判断した。	食進会「おながめしの動画撮影」による定期的な利用に加え、給食調理委託業者の調理研修やテレビ番組の収録等の有料利用で、前年度より利用者数は増加した。	学校関係の研修会や食進会「おながめしの動画撮影」による定期的な利用で、前年度より利用件数は増加した。また、給食調理委託業者の調理研修等の有料利用も増加した。
	数値実績 または効果	利用人数:455人 有料利用:1件 R1:531人	利用人数:298人 有料利用:3件 R2:455人	利用人数:676人(45件) 有料利用:4件	利用人数:734人(49件) 有料利用:9件	利用人数:622人(50件) 有料利用:10件

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

具体的取組		4-2	効率的な維持管理方法の検討					重点	
取組内容		類似する業務や工事等は一括発注することで、効率的な維持管理を行う。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
①	草刈業務や施設保守等類似する維持管理業務の一括発注の検討		●	●	○	→	→	関係課	
期待する効果等		経費の低廉化							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況								
	取組実績 (内容)								
	数値実績 または効果								

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4		公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化					
具体的取組 4-3		公共施設等における受益者負担の適正化					重点 ★
取組内容		公共施設等における使用料等について、施設の公共性や収益性を勘案し、施設毎に管理運営コストに対する受益者負担率を設定し、「受益と負担」の原則に基づき、使用料等の適正化を行う。					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① 公共施設使用料等の見直し		●	○	→	→	→	関係課
② コミバス運賃の見直し		●	○	→	→	→	都市計画係
③ 給食費の見直し		●	○	→	→	→	食育交流・防災センター係
④ 減免措置の見直し		●	○	→	→	→	関係課
期待する効果等		受益者負担の適正化					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	公共施設使用料等の見直し方針決定(実施は新型コロナの動向を注視して決定)	＜スポーツ文化係＞ 総合運動公園の利用料金改定をR4年度から実施 ＜社会教育係＞ 中央公民館の使用料改定をR4年度から実施	＜スポーツ文化係＞ 令和4年度から総合運動公園利用料の10%増額改定実施。指定管理者より料金改定に伴う増額分が返納される。 ＜社会教育係＞ 令和4年度から中央公民館使用料の15%増額改定実施。使用料改定により収入額増額	＜スポーツ文化係＞ 令和4年度から総合運動公園利用料の10%増額改定実施。指定管理者より料金改定に伴う増額分が返納される。 ＜社会教育係＞ 令和4年度から中央公民館使用料の15%増額改定実施。使用料改定により収入額増額	＜スポーツ文化係＞ 見直し等はないが、最近の物価・人件費高騰の対応は検討する必要がある。 ＜社会教育係＞ 令和4年度から中央公民館使用料の15%増額改定実施。使用料改定により収入額増額	
	数値実績 または効果			料金改定による増額分 ・総合運動公園約1,015千円 ・中央公民館約257千円	料金改定による増額分 ・総合運動公園約1,083千円 ・中央公民館約353千円	＜社会教育係＞ 料金改定による増額分 ・中央公民館約288千円	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 4 公共施設マネジメントの推進と受益者負担の適正化

	取組状況	検討●	実施○	効果検証→	進捗管理→	進捗管理→
①	取組実績 (内容)	公共施設使用料等の見直し方針決定(実施は新型コロナの動向を注視して決定)	〈福祉高齢者支援係〉ふれあいの里利用料金改定をR4年度から実施	〈福祉高齢者支援係〉ふれあいの里利用料金改定に伴う収入粉アップ分(経費除く)を委託料より減額(戻入対応)した	〈福祉高齢者支援係〉ふれあいの里利用料金改定に伴う収入粉アップ分(経費除く)を委託料より減額(戻入対応)した	〈福祉高齢者支援係〉ふれあいの里利用料金改定に伴う収入粉アップ分(経費除く)を返還いただく。
	数値実績 または効果			362千円 (単価改定の必要経費を除く)	920千円 (単価改定の必要経費を除く)	1,145千円 (単価改定の必要経費を除く)
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	〈建設課〉町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を決定	〈建設課〉町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を実施	〈建設課〉町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を引き続き検討したが、人件費の高騰により前年度より増額となった。	〈建設課〉町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を引き続き検討したが、人件費の高騰により前年度より増額となった。	〈建設課〉町営駐輪場整理料の見直しは実施せず、管理委託料の削減を引き続き検討したが、人件費の高騰により前年度より増額となった。
	数値実績 または効果	管理委託料削減額726千円(R3～)	管理委託料削減額726千円	前年度比: 36,000円増	前年度比: 29,000円増	前年度比: 99,000円増
②	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●
	取組実績 (内容)	運賃見直し案検討(新型コロナの状況を踏まえて判断)	運賃見直し案検討(新型コロナの状況を踏まえて判断)	運賃見直し案検討(新型コロナの状況や物価高騰などの社会情勢を踏まえて判断)	バス対策協議会、及び地域公共交通会議において運賃見直し案について協議実施	バス対策協議会、及び地域公共交通会議において運賃見直し案について協議し、R7年度からの高齢者割引対象年齢の引き上げ、回数乗車券の割引率の引き下げについて条例改正を実施。
	数値実績 または効果	今後、バス対策協議会及び地域公共交通会議で協議を行い、新型コロナの状況を踏まえ判断	新型コロナ感染拡大により、検討継続中	新型コロナおよび物価高騰などの社会情勢を見ながら検討を継続	令和6年度中に条例を改正し、令和7年度デマンド交通導入に合わせて改定予定	令和7年4月1日より運賃改定実施。平均改定率+18%
③	取組状況	検討●	検討●	実施○	進捗管理→	検討●
	取組実績 (内容)	近隣町の給食費改定状況を把握。R4に給食費改定予定	10月の学校給食運営委員会にてR4年度4月からの給食費改定を決定。	R4年度4月から給食費の改定を実施。	R4年度に給食費の改定を実施したが物価高騰等の影響で食材の値上げも増加。R7年度の改定に向け、検討が必要。	物価高騰等の影響で食材の値上げも増加していることから、給食費改定に向け、検討を実施。学校給食運営委員会にてR7年度4月からの給食費改定を決定。
	数値実績 または効果	学校給食運営委員会が新型コロナの影響で書面開催となったため、説明を検討中	小学校: 4,300円/月(+200) 中学校: 5,100円/月(+300)	小学校: 4,300円/月 中学校: 5,100円/月	小学校: 4,300円/月 中学校: 5,100円/月	小学校: 4,800円/月(+500) 中学校: 5,600円/月(+500)
④	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	減免措置の状況調査を実施	〈福祉高齢者支援係〉〈スポーツ文化係〉〈中央公民館〉R3年度に全庁的な利用料金・使用料見直しに合わせて対象団体を整理	〈福祉高齢者支援係〉〈スポーツ文化係〉〈中央公民館〉継続	〈福祉高齢者支援係〉〈スポーツ文化係〉〈中央公民館〉継続	〈福祉高齢者支援係〉〈スポーツ文化係〉〈中央公民館〉継続
	数値実績 または効果					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 5 社会保障制度及び特別会計の適切な運営

具体的取組		5-1	特別会計における受益者負担の適正化					重点	★
取組内容		国民健康保険事業特別会計、下水道事業会計における受益者負担を見直し、一般会計からの繰出金を抑制する。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 国保税率の見直し			○	→	○	→	○	国保年金係 課税係	
② 下水道使用料の見直しの検討			●	○	→	→	●	下水道管理係	
③ 農業集落排水施設の公共下水道への統合による経営効率向上 (R6に老良地区の統合実施設計、R7に統合実施)			●	●	●	●	●	下水道管理係	
期待する効果等		一般会計からの繰出金の抑制							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	検討●	実施○	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)	国保税率改正実施	国保運営協議会において国保税率改正の協議を実施	国保税率改正実施	国保運営協議会において国保税率改正の協議を実施	国保税率改正実施			
	数値実績 または効果	新型コロナの影響により、医療費は下がったが、減免等の取り組みを実施したので、税率改正の効果は不明	国保運営協議会を5回開催し、国保財政運営健全化計画に基づき、税率改正について協議を実施	国保財政運営健全化計画の見直しを行い、税率改正を実施した。	国保運営協議会を2回開催し、税率改正について協議した。令和6年度からは県の標準保険税率を適用することとした。	〈課税係〉 国保財政運営健全化計画に基づき、赤字解消及び今後の県下統一の保険税率適用を見据え、令和6年度から毎年県の標準保険税率を適用。 〈国保年金係〉 国保財政調整基金条例を改正し、国保特別会計の余剰金を基金に積み立てた。			
	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●			
②	取組実績 (内容)	H25下水道使用料改定後の事後検証を行い、今後(R11まで)の財政計画を作成	下水道使用料改定については、新型コロナの状況を踏まえて判断	使用料改定については、新型コロナの状況や物価高騰などの社会情勢を踏まえて判断	使用料改定については、物価高騰や景気動向等の社会情勢を踏まえて判断	現在の経営分析や今後の人口減少、減価償却率等を反映した令和15年度までの経営戦略を策定した			
	数値実績 または効果	下水道使用料の見直しは、新型コロナの状況を踏まえて判断	新型コロナ感染症拡大により検討を継続	新型コロナおよび物価高騰などの社会情勢を見ながら検討を継続	物価高騰や景気動向等の社会情勢を見ながら検討を継続	財政状況の検証や、物価高の状況等の社会情勢を踏まえ検討を継続			
	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	進捗管理→			
③	取組実績 (内容)		農業集落排水施設の公共下水道接続のための広域化全体設計を実施	農業集落排水施設を公共下水道事業計画区域に編入するための法手続きを進めた	農業集落排水施設を公共下水道事業計画区域に編入するための法手続きを完了し、統合のための接続管路工事に着手した	農業集落排水施設を公共下水道事業計画区域に統合するための接続管路工事を進めた			
	数値実績 または効果		接続ルートを設定し、施設能力の算定を行った	公共下水道事業計画変更について福岡県との協議を完了させた	公共下水道事業計画変更を完了させ、統合のための接続管路工事に着手	令和7年度末の老良地区統合に必要な部分まで整備が完了した			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 5		社会保障制度及び特別会計の適切な運営					
具体的取組 5-2		医療費の適正化と住民の健康維持増進					重点 ★
取組内容		増大する医療費、介護費を抑制するため、健康づくり事業を推進する。					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① がん検診自己負担の見直し		●	●	●	○	→	健康対策係
② 健康教室への参加者増		●	○	→	→	→	健康対策係 地域包括支援係
期待する効果等		扶助費の削減					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況	検討●	実施○	実施○	実施○	進捗管理→	
	取組実績 (内容)	2年度から5年度にかけて胃がん検診と肺がん検診委託料が徐々に値上げとなるため、自己負担を引き上げるよう検討した	胃がん検診の自己負担額を500円から1000円に引き上げ	・胃がん検診の自己負担額を1000円から1500円に引き上げ ・肺がん検診の自己負担額を300円から500円に引き上げ	・胃がん検診の自己負担額を1500円から2000円に引き上げ	・自己負担額の引き上げは、R5年度で終了し、引き続き自己負担額は肺がん検診500円、胃がん検診2,000円で実施	
	数値実績 または効果		胃がん検診委託料6105円から7645円の値上げに伴い、自己負担額を500円から1000円に引き上げた効果額:332千円	胃がん検診委託料7645円から9130円の値上げに伴い、自己負担額を1000円から1500円に引き上げた効果額:323千円 肺がん検診委託料1540円から1870円の値上げに伴い、自己負担額を300円から500円に引き上げた効果額:274千円	胃がん検診委託料9,130円から10,670円の値上げに伴い、自己負担額を1,500円から2,000円に引き上げた効果額:285千円		
②	取組状況	検討●	実施○	実施○	実施○	実施○	
	取組実績 (内容)	＜健康対策係＞ ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ	＜健康対策係＞ ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ	＜健康対策係＞ ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ	＜健康対策係＞ ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ	＜健康対策係＞ ・健診後の相談会や訪問等で案内 ・健康づくりポイント事業として位置づけ	
	数値実績 または効果	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者は減少 参加人数:138人 R1実績:617人	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者は例年(コロナ前)より減少 参加人数:147人 R2実績:138人	教室の実施は健康対策係から地域包括支援係へ移管			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 5 社会保障制度及び特別会計の適切な運営						
	取組状況	検討●	検討●	実施○	実施○	実施○
②	取組実績 (内容)	＜地域包括支援係＞ 悠々ひろば(運動教室)は健康寿命の延伸のため転倒予防に重点をおいて月2回委託実施	＜地域包括支援係＞ 教室参加による効果や現状の身体機能を参加者自ら把握できることを目的に、R4年度からの身体機能測定を計画し実施に備えた	＜地域包括支援係＞ 教室参加による効果や現状の身体機能を参加者自ら把握できることを目的に、身体機能測定を年2回実施した。	＜地域包括支援係＞ 健康対策係から移管した教室と既存の教室と2教室の運動教室を実施。昨年に引き続き身体機能測定年2回を実施した。	＜地域包括支援係＞ 運動教室を2教室実施。昨年に引き続き身体機能測定年2回を実施した。
	数値実績 または効果	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者は減少 参加人数:109人	新型コロナの影響で一時期中止したため参加者数は横ばい。 参加延人数:174人	新規参加者は5名で前年より9名減少したが、1回あたりの参加者数は3.2人増加。 参加者延人数:494人 悠々ひろば:219人 リフレッシュ:275人	新規参加者、実人数は横ばい、延人数が194人増加しており、リピーターの確保はできている。 参加者延人数:688人 悠々ひろば:286人 リフレッシュ:402人	新規参加者、実人数は減少。1回当たりの参加者数は横ばいで維持できており、リピーターの確保はできている。 参加者延人数:700人 悠々ひろば:347人 リフレッシュ:353人

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6 事務事業の取捨選択

具体的取組		6-1	事務事業評価による事務事業の適正化					重点	★
取組内容		事務事業評価による事業の効率化・効果等の検証を的確に行い、優先事務事業の選定、予算配分の適正化を図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 事務事業評価対象事業の取捨選択		○	→	→	→	→	企画係		
② 事務事業評価の進め方見直し		○	→	→	→	→	企画係		
期待する効果等		健全な財政運営							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
① ②	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施	取捨選択方針を決定し、事務事業評価を実施			
	数値実績 または効果	評価結果 継続:56 改善:24 見直し等:16	評価結果 継続:59 改善:22 見直し等:10	評価結果 継続:71 改善:14 見直し等:11	評価結果 継続:57 改善:27 見直し等:8	評価結果 継続:64 改善:21 見直し等:7			

具体的取組		6-2	イベントの統廃合の検討					重点	
取組内容		現在、実施しているイベントの費用対効果を分析し、住民負担も考慮し、統廃合の検討を行う。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 実施しているイベントの必要性検証		●	○	→	→	→	関係課		
② 既存イベントの統廃合検討		●	●	○	→	→	関係課		
③ 駅南開発を見据えた夏まつりのあり方検討		●	●	●	●	●	商工振興係		
期待する効果等		事務の効率化、住民サービスの向上							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
① ②	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜福祉高齢者支援係＞健康・福祉まつりはR4年度以降、社会福祉協議会および指定管理者への委託事業として開催するよう協議実施	＜福祉高齢者支援係＞初めて指定管理者と社会福祉協議会へ委託する形で「福祉フェア」と改名し開催した	＜福祉高齢者支援係＞引き続き、指定管理者・社会福祉協議会へ委託し、「福祉フェア」を実施した。	＜福祉高齢者支援係＞引き続き、指定管理者・社会福祉協議会へ委託し、「福祉フェア」を実施した。			
	数値実績 または効果		削減額343千円						

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6 事務事業の取捨選択						
① ②	取組状況	検討●	実施○	実施○	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜スポーツ文化係＞ 全庁的なイベント事業の見直しにより、スポレクおんがを廃止した	＜スポーツ文化係＞ スポレクの代替としてミニスポーツ教室等を実施して競技人口拡大につとめている。	＜スポーツ文化係＞ スポレクの代替としてミニスポーツ教室等を実施して競技人口拡大につとめている。	＜スポーツ文化係＞ スポレクの代替としてミニスポーツ教室等を実施して競技人口拡大につとめている。
	数値実績 または効果		削減額650千円			
① ②	取組状況	検討●	実施○	実施○	進捗管理→	見直し→
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜社会教育係＞ 全庁的なイベント事業の見直しにより、3事業を廃止した	＜社会教育係＞ ・通学合宿の代替として、活動体験教室を行った。 ・観月コンサートの代替として、島津のヤマザクラライトアップ事業を行った。 ・次年度こどもまつりのイベント内容の見直しを行った。	＜社会教育係＞ ・通学合宿の代替として、活動体験教室を行った。 ・観月コンサートの代替として、島津のヤマザクラライトアップ事業を行った。 ・次年度こどもまつりのイベント内容の見直しを行った。	＜社会教育係＞ ・通学合宿の代替として、活動体験教室を行った。 ・観月コンサートの代替として、島津のヤマザクラライトアップ事業を行っていたが、実行委員会で話し合い、事業は、令和6年度で終了とした。 ・次年度こどもまつりのイベント内容の見直し、損失がなるべく出ないように出店団体と協議を行った。
	数値実績 または効果		7事業中、廃止3、縮小3、存続1 削減額625千円	活動体験教室:5回、参加人数、延べ135人 島津のヤマザクラライトアップ事業:約500人 来場 こどもまつり:3回検討	活動体験教室:5回、参加人数、延べ58人 島津のヤマザクラライトアップ事業:約600人 来場 こどもまつり:約2,500人 来場	活動体験教室:5回、参加人数、延べ82人 島津のヤマザクラライトアップ事業:約600人 来場 こどもまつり:約5,000人 来場
① ② ③	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●
	取組実績 (内容)	「実施しているイベントの必要性検証」及び「イベントの統廃合の検討」の方針を検討	＜商工振興係＞ 駅南開発の進捗状況に合わせた夏まつりのあり方を検討	＜商工振興係＞ 駅南開発の進捗状況に合わせた夏まつりのあり方を検討	＜商工振興係＞ 駅南開発の進捗状況に合わせた夏まつりのあり方を検討	＜商工振興係＞ 夏まつりはいったん中止とし、今後、新たなイベントとして検討と調整を進めていく
	数値実績 または効果					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6 事務事業の取捨選択									
具体的取組		6-3	大規模事業における事業費等の適正化					重点	★
取組内容		駅周辺整備事業において、ランニングコストも含めた適正な仕様や整備のあり方の検討を行い、事業費の適正化を行う。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 駅前広場、駅ペデストリアンデッキ、おんがみらいテラスにおけるグレードや整備のあり方の検討。		○	→	→	→	→	事業係 企画係		
期待する効果等		健全な財政運営							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	おんがみらいテラスの実施設計で建物の仕様、備品及び駐車場の整備内容が過剰とならないよう検討。また、設計、什器選定及び運営手法の検討等で、指定管理観点の意見を取り入れ、ランニングコストの縮減を実施	おんがみらいテラスの什器選定及び運営手法の検討等で、指定管理観点の意見を取り入れ、ランニングコストの縮減を実施するとともに、R4遊具整備で自治総合センターの共生の地域づくり助成事業の採択を受けた	・自治総合センターの共生の地域づくり助成事業や森林環境譲与税を活用し遊具整備を行った ・みらいテラス運営のために指定管理者を選定・決定した	駅南整備事業の事業費適正化に向けて内部で協議を重ねた	駅南整備事業の事業費適正化に向けて内部で協議を重ねた			
	数値実績 または効果	減額リストによる建設費削減額 93,973千円	採択額10,000千円	採択額 共生の地域づくり助成事業:10,000千円 森林環境贈与税:5,000千円	内部協議回数:3回	内部協議回数:3回			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 6		事務事業の取捨選択						
具体的取組 6-4		情報発信方法の検討					重点	
取組内容	広報おんがのリニューアル(発行回数や内容の見直し検討)を行う。また、シティプロモーション戦略に基づき、効率的な情報集約・発信体制を構築するとともに、効果的なSNSの活用による戦略的な情報発信を行う。(情報集約・発信体制の構築と戦略的な情報発信については、総合戦略で検証を行う)							
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 広報おんがのリニューアル		●	○	→	→	→	広報係	
期待する効果等		シビックプライドの醸成、移住定住の促進						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	実施○	実施○	実施○	実施○		
	取組実績(内容)	・広報おんがR3からのリニューアル内容を検討、実施を決定 ・SNSによる情報発信を継続実施	・広報おんがリニューアル後、読者の意見を元にレイアウト等の修正を実施 ・各担当部署からの迅速な情報発信を実現するため、ホームページ更新システム(CMS)を導入 ・SNSによる情報発信を継続実施	・広報おんがリニューアル後、読者の意見を元に新規コーナーの追加等を実施 ・SNSによる情報発信を継続実施 ・Yahoo!くらしでの公共情報発信を開始	・広報おんが特集記事の方向性を担当部署と共有するため事前協議を開始 ・SNSによる情報発信を継続実施 ・公式キャラクターを活用したショート動画の発信を開始	・広報おんが特集記事の方向性を担当部署と共有するため事前協議を継続実施 ・SNSによる情報発信を継続実施 ・町民出演動画の作成を継続実施		
	数値実績または効果	・固定掲載枠数10→12枠(R3～) ・広告収入1,110千円 ・SNS投稿数:338件/年	・掲載枠数12枠/号 ・広告収入1,397千円 ・SNS投稿数:329件/年	・広報おんが広告掲載枠数12枠/号 ・広告収入1,695千円 ・SNS投稿数:274件/年	・広報おんが広告掲載枠数14枠/号 ・広告収入1,345千円 ・SNS投稿数:346件/年	・広報おんが広告掲載枠数14枠/号 ・広告収入1,117千円 ・SNS投稿数:345件/年		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し

具体的取組		7-1	各種団体への補助金等の定期的な見直しと負担金の適正化					重点	★
取組内容		各種団体等に対する補助金については、社会経済情勢や住民ニーズの変化を的確に捉えながら、施策・事業への効果や民間の役割等を検証し、定期的に見直すこととし、適正な運用の確保を図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 商工会補助金の見直し		●	○	→	→	→	商工振興係		
② 社協補助金の見直し		●	○	→	→	→	福祉高齢者支援係		
③ 敬老会補助金の見直し		●	○	→	→	→	福祉高齢者支援係		
④ シルバー補助金の見直し		●	○	→	→	→	福祉高齢者支援係		
⑤ いきいきデイサービスの委託先見直し検討		●	●	○	→	→	地域包括支援係		
⑥ 保育園補助金の見直し		●	○	→	→	→	子育て支援係		
⑦ がんばる地域まちづくり事業のあり方検討(13-3再掲)		●	●	○	→	→	協働人権係		
⑧ 優良品種種子更新事業費補助金の見直し		●	○	→	→	→	農業推進係		
⑨ 遠賀町立中学校大会出場費補助金の見直し		○	→	→	→	→	学校教育係		
⑩ その他補助金・交付金の削減の検討		●	●	●	●	○	関係課		
期待する効果等		経費の削減、健全な財政運営							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○	検討●	検討●	検討●			
	取組実績 (内容)	健康維持支援事業補助金について、R3からの廃止を決定	健康維持支援事業補助金を廃止した。	プレミアム付き商品券事業補助金の事務手数料分について廃止を検討	プレミアム付き商品券事業補助金のプレミアム分と事務手数料分について、特定財源の状況に合わせた検討を決定	プレミアム付き商品券事業補助金のプレミアム分と事務手数料分について、特定財源の状況に合わせた検討を決定			
	数値実績 または効果		削減額357千円						
②	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	運営費補助および各種事業委託金の見直しを実施	運営費補助および各種事業委託金の精査実施	運営費補助および各種事業委託金の精査実施	運営費補助および各種事業委託金の精査実施	運営費補助および各種事業委託金の精査実施			
	数値実績 または効果	対前年△2,136千円	対前年△5,964千円 返還額4,588千円	対前年△1,937千円 返還額599千円 実績額30,746千円	対前年△1,130千円 返還額 2,451千円 実績額 27,764千円	対前年 △640千円 返還額 3,104千円 実績額 27,124千円			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し

	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
③	取組実績 (内容)	R4以降の開催方法等について自治区長会に提示しR3に協議	敬老会補助金廃止。R4年度から区事務交付金へ高齢者加算とするとともに、単価を段階的に削減していく	敬老会補助金を廃止し、区事務交付金に高齢者加算分として上乗せする形で実施した。	区事務交付金に高齢者加算分として上乗せする形で実施した。	区事務交付金に高齢者加算分として上乗せする形で実施した。
	数値実績 または効果		対前年△752,800円 R3 2,800円/人から R7年度以降 2,000円/人まで毎年200円/人ずつを減額予定	R4単価:2,600円/人 対象者:3,764名 実績額 16,292千円 R4効果額 752千円	R5単価:2,400円/人 対象者:3,941名 実績額 9,458千円 R5効果額 788千円	R5単価:2,200円/人 対象者:4,045名 実績額 8,899千円 R6効果額 809千円
④	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	事業収益において2年連続で黒字が出た場合は、補助金を返還する旨協議済み	人件費剰余分につき返還	職員退職に伴う人件費剰余分を返還	インボイス制度の導入や人件費のアップ、補助事業の実施等により、事業黒字とはならなかった。	インボイス制度の導入や人件費のアップ等により、事業黒字とはならなかった。
	数値実績 または効果	返還額1,450千円	返還額1,150千円	返還額200千円	返還なし	返還なし
⑤	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	デイサービスの内容や会場の条件等を踏まえ、委託先検討				
	数値実績 または効果	現在の社会福祉協議会への委託が適当であると判断				
⑥	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	保育園及び幼稚園に対する補助金の見直しを実施(R3から適用)	保育園および幼稚園に対する補助金の一本化、内容の精査、手続きの一本化を実施			
	数値実績 または効果	施設整備、施設管理等補助率70%以内→50%以内へ変更	施設整備補助金の対象事業の精査を行った			
⑦	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	見直し→
	取組実績 (内容)	限りある財源で最大の効果が得られるよう、今後のあり方(補助率や採点方法の見直し等)を検討	新たに要綱を制定した。補助上限額、採点方法の見直しのほか、行政提案型事業を創設した	昨年度制定した要綱に基づいて実施した。行政提案型のメニューを増やした。	一昨年度制定した要綱に基づいて実施した。行政提案型のメニューを増やした。	行政提案型に「町制60周年を祝う」メニューを追加した。来年度以降の補助金の見直しを行った。
	数値実績 または効果	実施事業:1件 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4	実施事業:0件(中止1件) 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4	実施事業:4件 (提案公募型2件・行政提案型1件・大規模イベント事業1件)	実施事業:6件 (提案公募型2件・行政提案型3件・大規模イベント事業1件)	事業実施件数:13件 (提案公募型1件・行政提案型・11件・大規模イベント事業1件)
⑧	取組状況	検討●	検討●	実施○	進捗管理→	実施○
	取組実績 (内容)	水稻優良品種種子更新事業費補助金の見直し方針を決定し、農業者や関係機関に周知	水稻優良品種種子更新事業費補助金の見直し方針実施に向けて、次年度予算への反映など準備	見直し方針実施に向けて、経過措置の見直しを実施	種子購入量から自己保有米相当分として5kgを差し引いて 1/2を補助	種子購入量から自己保有米相当分として5kgを差し引いて補助 ①認定農業者及び認定新規就農者1/2 ②その他の農業者1/3
	数値実績 または効果	R4から見直しを開始	R4から見直しを開始	最終的な見直しはR6に再度実施	最終的な見直しはR6に再度実施	削減額:196千円

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し						
⑨	取組状況	実施○	進捗管理→	検討●	実施○	実施○
	取組実績 (内容)	町内の移動にかかる交通費を補助対象経費から除外	町内の移動にかかる交通費を補助対象経費から除外	遠賀郡中間市で開催される場合は、交通費を補助対象経費から除外。R5から見直しを開始。	筑豊大会や県大会が遠賀郡内または中間市内で開催される場合は、交通費を補助対象経費から除外。	筑豊大会や県大会が遠賀郡内または中間市内で開催される場合は、交通費を補助対象経費から除外。
	数値実績 または効果	削減額: 46千円	削減額: 163千円	削減見込額 220千円(R5～)	削減額: 84千円	削減額: 63千円
⑩	取組状況		検討●	検討●	実施○	
	取組実績 (内容)		＜農業推進係＞ 遠賀町認定・志向農業者連絡協議会補助金の見直し検討	＜農業推進係＞ 遠賀町認定・志向農業者連絡協議会補助金の見直し方針実施に向けて、次年度予算への反映など準備	＜農業推進係＞ 遠賀町認定・志向農業者連絡協議会補助金の見直しを実施	
	数値実績 または効果		R5から見直しを開始	R5から見直しを開始	削減額 69千円	
⑩	取組状況			検討●	実施○	進捗管理→
	取組実績 (内容)			＜スポーツ文化係＞ 町体育協会補助金400千円削減の協議（令和5年から削減） 地区公民館長会補助金を約16%減額	＜スポーツ文化係＞ 町体育協会補助金を削減	＜スポーツ文化係＞ 前年度と同額を交付したが、最近の物価・人件費高騰対応は検討する必要がある。
	数値実績 または効果			地区公民館長会補助金削減額25千円	町体育協会補助金400千円減額	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し

具体的取組		7-2	委託料等の定期的な見直し					重点		
取組内容		毎年度、事業の有効性・費用対効果・継続性等の視点で必要性の検証を行い、必要に応じ見直しを図る。								
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 駅南駐車場の管理委託方法の見直し				○	→	→	→	→	管財係	
② 新町駐車場の管理委託方法の見直し				●	○	→	→	→	建設課	
③ 委託内容の見直し(草刈と防草シートとの比較検討など)				●	○	→	→	→	管財係 関係課	
期待する効果等		経費の削減、事務の効率化、住民サービスの向上								
年次計画		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度
①	取組状況	実施○		進捗管理→		その他		その他		その他
	取組実績 (内容)	駅南駐車場の管理委託を機械化		駅南駐車場の管理委託の機械化完全実施		区画整理の本格実施に伴い、令和4年8月末で閉鎖。代替事業なし。		区画整理の本格実施に伴い、令和4年8月末で閉鎖。代替事業なし。		区画整理の本格実施に伴い、令和4年8月末で閉鎖。代替事業なし。
	数値実績 または効果	削減額:2,363千円		削減額:269千円		利用料収益 1,276,000円 委託料 506,000円 借地料 605,000円				
②	取組状況	検討●		実施○		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→
	取組実績 (内容)	新町駐車場の一時利用廃止を検討		新町駐車場の一時利用廃止						
	数値実績 または効果	委託料削減額 3,283千円(R3~)		委託料削減額 2,833千円						
③	取組状況	実施○		見直し→		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→
	取組実績 (内容)	＜管財係＞ 草刈り、防草シート、舗装、薬剤で単価比較表を作成		＜管財係＞ 除草の方法、範囲の見直しによる委託料削減の検討 ＜社会教育係＞ 草刈り、防草シート、薬剤で比較し、最も安価な薬剤管理とした(R04から)		＜管財係＞ 効果的な管理方法や適切な委託範囲、委託先の見直しによる委託契約内容の変更。		＜管財係＞ 効果的な管理方法や適切な委託範囲、委託先の見直しによる委託契約内容の変更。		＜管財係＞ 委託範囲、委託先の見直しにより昨年度変更した委託契約内容を継続した。
	数値実績 または効果	＜管財係、建設課、学校教育係＞ 草取り、防草シートのコスト比較検討・実施		＜管財係＞ 各対象土地に最も適した管理方法の検討・実施		＜管財係＞ 管理不足による職員や委託業者の緊急対応が減少した。		＜管財係＞ 管理不足による職員や委託業者の緊急対応が減少した。		＜管財係＞ 管理不足による職員や委託業者の緊急対応が減少した。

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 7 補助金・負担金等の見直し						
③	取組状況				実施○	
	取組実績 (内容)				<子育て支援係・学校教育係> 広渡小学校地内の学童保育協の箇所に防草シートを施工した。	
	数値実績 または効果				<子育て支援係・学校教育係> 学校・学童の将来的な維持管理費用の削減を図った。	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し

具体的取組		8-1 定員管理・適正化計画の推進					重点	
取組内容		平成19年度に策定した遠賀町定員管理・適正化計画の推進と見直しを行い、再任用制度や会計年度任用職員制度を活用し、業務量と職員数のバランスを勘案しながら、計画に沿った定員管理の適正化を図る。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 定数管理・適正化計画の定期的な見直し		○	→	→	→	→		人事秘書係
② 計画に基づく職員数と総人件費の適正化		○	→	→	→	→		人事秘書係
期待する効果等		効率的な組織づくり						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績 (内容)	・定員管理・適正化計画の見直しを実施 ・職員定数条例の見直しを実施						
	数値実績 または効果	・定員R2の130名に対し、R7時点で130名に維持 ・定数133名から141名へ見直し						
②	取組状況		実施○	実施○	実施○	実施○	実施○	
	取組実績 (内容)		一般職の任期付職員の採用等に関する条例に基づき、専門的な知識経験を有する人材などの確保を行った	一般職の任期付職員の採用等に関する条例に基づき、専門的な知識経験を有する人材などの確保を行った。	一般職の任期付職員の採用等に関する条例に基づき、専門的な知識経験を有する人材などの確保を行った。	一般職の任期付職員の採用等に関する条例に基づき、専門的な知識経験を有する人材などの確保を行った。	一般職の任期付職員の採用等に関する条例に基づき、専門的な知識経験を有する人材などの確保を行った。	
	数値実績 または効果		専門的任期付職員:7人 一般任期付職員:3人 任期付短時間勤務職員:1人	専門的任期付職員6人 一般任期付職員:3人 任期付短時間勤務職員:1人	専門的任期付職員9人 一般任期付職員:4人 任期付短時間勤務職員:1人	専門的任期付職員6人 一般任期付職員:2人 任期付短時間勤務職員:1人		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し											
具体的取組		8-2	柔軟な組織機構の見直し						重点		
取組内容		新たな行政課題を確実に解決するとともに、多様化する住民ニーズに対応するため、住民の視点に立った分かりやすい、利用しやすい組織機構へ見直しする。限られた職員で効率的な業務執行が可能かつ時代の変化に柔軟に対応できる組織機構への改革を継続して行う。また、令和5年度から(仮称)交流センターがオープンするため、準備に向けた機構の見直しをあわせて行う。									
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当		
① 機構改革の実施				●	○	→	→	→	企画係		
期待する効果等		効率的な組織づくり									
年次計画		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
①	取組状況	検討●		実施○		進捗管理→		進捗管理→		検討●	
	取組実績 (内容)	事務改善委員会等で機構改革を検討し、R3年4月から実施		R3年4月に機構改革を実施						こども家庭センターの係化	
	数値実績 または効果	15課室34係で改革(改革前14課室34係)		15課室34係で改革(改革前14課室34係)		15課室34係を維持		15課室34係を維持		15課室34係を維持	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し							
具体的取組 8-3 働き方改革の推進						重点	★
取組内容	長時間労働の是正と、多様で柔軟な働き方を実現するため、業務のあり方や進め方を見直す。また、特定事業主行動計画の見直しを行い、全ての職員がいきいきと働き、ワークライフバランスが実現できる職場となることを実現する。						
	検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 特定事業主行動計画の見直し	○	→	→	→	→		人事秘書係
② ノー残業デーの回数増検討	●	○	→	→	→		人事秘書係
③ 研修回数・時間・内容の見直し	●	○	→	→	→		総務課・福祉課 関係課
④ ワーキングのあり方見直し	●	○	→	→	→		関係課
⑤ 業務量の削減(事業の廃止・見直し)	●	○	→	→	→		全課
⑥ 仕事の進め方改革、徹底的な無駄の排除	●	○	→	→	→		全課
⑦ 働き方改革を通じた組織づくり	●	○	→	→	→		全課
⑧ 時間外の削減実施	●	○	→	→	→		全課
期待する効果等	効率的な組織づくり						
年次計画	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
取組実績 (内容)	特定事業主行動計画の見直しを検討	特定事業主行動計画の見直しを行った	毎月全職員に向けて、有給休暇等の取得促進を行っているが、併せて育児・介護を行う場合の両立支援制度の周知を行った	毎月全職員に向けて、有給休暇等の取得促進を行っているが、併せて育児・介護を行う場合の両立支援制度の周知を行った	毎月全職員に向けて、有給休暇等の取得促進を行っているが、併せて育児・介護を行う場合の両立支援制度の周知を行った		
① 数値実績 または効果	推進委員会を開催。計画の概要、見直しスケジュールの説明を行い、アンケートの意見聴取を実施	全職員向けにアンケート調査を行い、集約、分析を行った第2回推進委員会を開催し、アンケート結果及び現状の課題に基づいた計画の素案を説明し、意見聴取を複数回行い、効果的に見直しを行った	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた		
取組状況	検討●	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
取組実績 (内容)	回数の増について検討	毎月第3水曜日に全職員にノー残業デーの通知を行った	毎月第3水曜日に全職員にノー残業デーの通知を行った	毎月第3水曜日に全職員にノー残業デーの通知を行った	毎月第3水曜日に全職員にノー残業デーの通知を行った		
② 数値実績 または効果	回数の増について検討したが、月1回の現状維持とした	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた	ワークライフバランスの重要性を認識してもらうことができた		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し

	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
③	取組実績 (内容)	＜人事係＞ コロナ禍における研 修内容の縮減や時間 の短縮を実施	＜人事秘書係＞ コロナ禍における研 修内容や研修時間の 見直しを実施	＜人事秘書係＞ コロナ禍における研 修内容や研修時間の 見直しを実施	＜人事秘書係＞ これまでの講義形式 からグループワーク 形式を取り入れ研修 を実施	＜人事秘書係＞ 昨年引き続き、講 義形式からグループ ワーク形式の研修を 実施
	数値実績 または効果	庁内研修を新型コロナ の観点から期間の 短縮や内容を縮減し て実施	庁内研修を新型コロナ 感染防止の観点から 研修内容を見直し、 時間を縮減して実施	庁内研修を新型コロナ 感染防止の観点から 研修内容を見直し、 時間を縮減して実施	グループワーク形式 を取り入れ、職員間 のコミュニケーション を深めた	グループワーク形式 の研修を実施し、職 員間のコミュニケー ションを深めた
④	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	検討●
	取組実績 (内容)	＜高齢者支援係＞ 地域福祉計画推進 ワーキングの実施回 数、開催方法の検討	＜福祉高齢者支援係＞ 地域福祉計画推進 ワーキングの対面会 議の回数削減。各種 確認依頼については、 庁内メールにて実 施	＜福祉高齢者支援係＞ 地域福祉計画推進 ワーキングの対面会 議の削減。各種確認 依頼については、庁 内メールにて実施	＜福祉高齢者支援係＞ 地域福祉計画推進 ワーキング・高齢者 保健福祉計画ワーキ ングについては、庁 内依頼メールにて周 知・実施	＜福祉高齢者支援係＞ 地域福祉計画推進 ワーキング・ふれあ いの里あり方検討ワー キングについては、 可能な限り庁内メー ルにて依頼・周知・実 施
	数値実績 または効果		対面会議実施 2回 メール依頼実施2回	対面会議実施 0回 メール依頼実施1回	(地域福祉計画) メール依頼実施 1回 (高齢者保健福祉計 画)対面会議実施 1 回 メール依頼実施 1回	(地域福祉計画) メール依頼実施 1回 (ふれあいの里あり方 検討ワーキング) 対面会議実施 1回 メール依頼実施 2回
④	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)	＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実 施計画ワーキングを 該当する課のみのメ ンバー構成で検討	＜社会教育係＞ コロナ禍により生涯 学習まちづくり実施計 画ワーキングについ ては庁内メールにて より実施	＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実 施計画ワーキングの 対面会議の削減。各 種確認依頼につい ては、庁内メールにて 報告	＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実 施計画ワーキングの 対面会議の削減。各 種確認依頼につい ては、庁内メールにて 報告	＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実 施計画ワーキングの 対面会議の削減。各 種確認依頼につい ては、庁内メールにて 報告
	数値実績 または効果		実施回数:2回	対面会議回数:0回 メール依頼件数:1回	対面会議回数:0回 メール依頼件数:1回	対面会議回数:0回 メール依頼件数:2回
⑤ ⑥	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●
	取組実績 (内容)	＜人事係＞ 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出	＜人事秘書係＞ 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出	＜人事秘書係＞ 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出	＜人事秘書係＞ 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出	＜人事秘書係＞ 「業務のあり方や進 め方」の見直しに関 する通知を職員へ発 出
	数値実績 または効果					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 8 組織機構の見直し

	取組状況	実施○	実施○	実施○	実施○	実施○
	取組実績 (内容)	＜人事係＞ ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の削減を 目指したが、新型コロ ナ対策のため増加	＜人事秘書係＞ ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の縮減を 全庁的課題として取 り組んだ	＜人事秘書係＞ ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の縮減を 全庁的課題として取 り組んだ	＜人事秘書係＞ ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の縮減を 全庁的課題として取 り組んだ	＜人事秘書係＞ ノー残業デーやイク ボス宣言の取り組み と共に、ワークライフ バランスの観点から 時間外勤務の縮減を 全庁的課題として取 り組んだ
⑦ ⑧	数値実績 または効果	削減時間: △5.1H/人 (週休日除外△7.8H/ 人) 削減額: △3,486千円	・全体の時間外勤務 縮減時間: △25.0H/ 人 (△33.3H/人)[対前年 度比] ※()は週休日除外 ・全体の時間外手当 縮減額: △12,117千 円[対前年度比] ワクチン集団接種業 務の遂行に伴い、大 幅な増となった	・全体の時間外勤務 縮減時間: 17.5H/人 (22.4H/人)[対前年度 比] ※()は週休日除外 ・全体の時間外手当 縮減額: 7,605千円 [対前年度比]	・全体の時間外勤務 縮減時間: 9.0H/人 (11.0H/人)[対前年度 比] ※()は週休日除外 ・全体の時間外手当 縮減額: 2,883千円 [対前年度比]	・全体の時間外勤務 縮減時間: 3.0H/人 (2.0H/人)[対前年度 比] ※()は週休日除外 ・全体の時間外手当 縮減額: 1,328千円 [対前年度比]

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 9 職員の育成と意識改革

具体的取組		9-1 人材育成基本方針の推進					重点	
取組内容		遠賀町人材育成基本方針について、職員の意欲と能力を最大限に引き出すための組織的な取り組みをトータル的な視点から見直すとともに、人材育成基本方針の推進に努める。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 企画・立案能力とマネジメント力向上		●	○	→	→	→		人事秘書係
② 職域拡大の推進 (これまで男女の配置が無かった部署への登用)		●	○	→	→	→		人事秘書係
③ 福岡県市町村職員研修所等の外部研修の活用 (個人能力向上)		○	→	→	→	→		人事秘書係
④ 育成指導による成長していく職場風土づくり(組織力向上)		○	→	→	→	→		人事秘書係
⑤ 災害時対応等の研修・訓練の実施		○	→	→	→	→		防災安全係
期待する効果等		職員の意欲及び能力の向上						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	北九州市主催の企画立案研修へ参加	北九州市主催の企画立案研修へ参加	北九州市主催の企画立案研修へ参加	北九州市主催の企画立案研修へ参加	北九州市主催の企画立案研修へ参加		
	数値実績 または効果	参加者数:1名	参加者数:1名	参加者数:1名	参加者数:1名	参加者数:1名		
②	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	女性が1人しかいない課の女性職員にアンケートを実施し、意見聴取を実施	人事異動への反映は今年度は困難であった	人事異動への反映は今年度は困難であった	人事異動への反映を行った			
	数値実績 または効果	2名から意見聴取し、職域拡大を検討			農業推進係へ女性1名配置	農業推進係:女性1名配置		
③	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター ・防災関係研修	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター ・全国市町村国際文化研修所	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター	・県市町村職員研修所 ・NOMA ・県建設技術情報センター ・地方自治研究機構 ・日本無線協会		
	数値実績 または効果	・27名 ・2名 ・3名 ・1名	・52名 ・7名 ・8名	・23名 ・2名 ・2名 ・1名	・57名 ・7名 ・6名	・55名 ・11名 ・9名 ・1名 ・1名		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 9 職員の育成と意識改革

	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
④	取組実績 (内容)	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築	メンター制度の活用により、新規採用職員等が成長しやすい土台を構築
	数値実績 または効果	対象新規採用職員:3名	対象新規採用職員:4名	対象新規採用職員:6名	対象新規採用職員:6名	対象新規採用職員:8名
	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
⑤	取組実績 (内容)	職員への防災士資格取得を推進	・職員への防災士資格取得を推進 ・災害援助班を中心に避難所開設訓練を実施	・職員への防災士資格取得を推進 ・町内一斉避難訓練を実施	・職員への防災士資格取得を推進 ・自家用車も活用した町内一斉避難訓練を実施	・職員への防災士資格取得を推進 ・自家用車も活用した町内一斉避難訓練を実施
	数値実績 または効果	資格取得者:4名	・資格取得者:7名 ・参加者:53名	・資格取得者:5名 ・参加者:116名	・資格取得者:5名 ・参加者:124名	・資格取得者:3名 ・参加者:131名

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 9 職員の育成と意識改革											
具体的取組		9-2	人材育成基本方針を反映した人事評価制度の推進						重点		
取組内容		職員の業務能力向上のため、職員の能力・実績等を適正に評価し、公正な人事管理を適正に行う人事評価制度を推進し、職員の資質の向上に努める。									
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当		
① 人事評価制度の推進				○	→	→	→	→	人事秘書係		
期待する効果等		職員の意欲及び能力の向上									
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→					
	取組実績 (内容)	人事評価制度の研修を3回実施	人事評価制度の研修を6回実施	人事評価制度の研修を3回実施	人事評価制度の研修を6回実施	人事評価制度の研修を3回実施	人事評価制度の研修を3回実施 ＜対象者＞ ・新規採用職員 ・育休復帰 ・新係長 ・課長・局長・室長 ・希望者				
	数値実績 または効果	研修参加者数:34名	研修参加者数:126名	研修参加者数:30名	研修参加者数:96名	研修参加者数:27名					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 9 職員の育成と意識改革

具体的取組		9-3	多様な人材の活用					重点
取組内容		人材不足が深刻な状況を迎えることが予測されるため、多様な人材の活用を行うことで町政を運営する。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6
① 能力のある中途採用の実施検討		●	●	○	→	→	人事秘書係	
② 定年延長引き上げに係る制度の検討		●	●	○	→	→	人事秘書係	
期待する効果等		職員の意欲及び能力の向上						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	検討●	検討●	実施○	実施○		
	取組実績（内容）			人事協議会で採用についての協議を行った	人事協議会で採用についての協議を行った	技術職の採用試験を実施したが、採用には至らなかった。		
	数値実績または効果			次年度以降、専門職の正規採用を検討していく	専門職職員4名採用			
②	取組状況	検討●	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績（内容）	国に準じて制度を検討するため、情報を収集	国に準じて制度を検討するため、情報を収集	国に準じて制度の構築を行った				
	数値実績または効果	R4からの制度変更に合わせて準備を実施	R4からの制度変更に合わせて準備を実施	条例を10本、規則等を5本改正を行った				

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 10 有効な外部委託の推進

具体的取組		10-1	入札・契約マニュアルの作成					重点	
取組内容		入札・契約にかかるマニュアルを作成し、入札・契約における透明性の向上と事務の効率化・平準化を図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 入札・契約にかかるマニュアルの作成			○	→	→	→	→	管財係	
期待する効果等		公平性・透明性の確保							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	工事契約(100万円超)について事務取扱要領をの作成委託・物品調達マニュアルをR3までに策定予定	・工事契約(100万円超)事務取扱要領の運用 ・他自治体の委託・物品調達マニュアルの情報収集	・関係法令等の改正に伴う、事務取扱要領の点検 ・他自治体の委託・物品調達マニュアルの情報収集	・入札契約制度等検討委員会の審議を経て入札制度を一部変更し、あわせて事務取扱要領を変更した。 ・他自治体の入札契約事務の情報収集と電子入札の検討を行った。	・工事契約(100万円超)事務取扱要領の運用 ・予定価格・最低制限価格の事前公表の実施 ・電子入札システム導入 ・電子入札に関する例規の整備			
	数値実績 または効果	職員へ要領作成を周知	職員へ要領に沿った契約事務の助言・指導	職員へ要領に沿った契約事務の助言・指導	職員へ要領に沿った契約事務の助言・指導	公平性・透明性の確保			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 10		有効な外部委託の推進					
具体的取組 10-2		民間委託の推進					重点
取組内容		組織を肥大化することなく時代の変化に対応した良質な行政サービスを提供するため、現在、直営や一部委託で行っている業務の民間委託について、費用対効果・安全性・公共性等の総合的な検討を行い、「住民サービスの維持・向上」を前提にした民間委託を推進する。					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① 定型業務及び一部窓口業務の民間委託検討		●	●	●	●	○	企画係
② 学校水泳授業の民間施設での実施検討		●	●	●	●	○	学校教育係
期待する効果等		民間活力の活用、経費節減					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況			検討●	検討●	検討●	
	取組実績（内容）			先進自治体及び民間事業者の情報収集を実施	先進自治体及び民間事業者の情報収集を実施	先進自治体及び民間事業者の情報収集を実施	
	数値実績または効果						
②	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	実施○	
	取組実績（内容）	・近隣自治体の情報収集を実施 ・町内のスイミングクラブと意見交換を実施	・近隣自治体の情報収集を実施 ・町内のスイミングクラブと意見交換を実施	・町内のスイミングクラブと意見交換を実施 ・R5年度に具体的な協議を行う	・町内のスイミングクラブと具体的な協議を実施 ・R6年度より浅木小学校の水泳指導の民間委託を実施する。	浅木小学校の水泳指導の民間委託を実施。 R7年度より3小学校の水泳指導の民間委託を実施する。	
	数値実績または効果					1,249千円 天候等に左右されず、指導者数も増え、より泳力の向上ができる	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 11 指定管理者制度の有効活用

具体的取組 11-1		指定管理者制度の導入					重点	
取組内容		費用対効果を考慮したうえで、民間で実施した方が経費面、サービス面とも効率的・効果的な事務事業について、指定管理者制度の検討・導入を行う。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① おんがみらいテラスへの導入検討		●	●	○	→	→		企画係
② 学童保育への導入検討		●	●	●	●	○		子育て支援係
期待する効果等		住民サービスの向上、適切な施設管理の推進						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	検討●	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績（内容）	導入へ向けて仕様書の作成に着手	導入へ向けて指定管理者選定審査会を開催	指定管理者選定審査会を開催し導入				
	数値実績または効果		R3開催回数:1回	R4開催回数:3回	R5利用者数:123千人	R6利用者数:141千人		
②	取組状況				検討●	検討●		
	取組実績（内容）				近隣の実施済み自治体に事業効果等のヒアリングを行ったが、さほどの事業効果はないと判断し、現行のまま実施することした。	近隣の実施済み自治体に事業効果等のヒアリングを行ったが、さほどの事業効果はないと判断し、現行のまま実施することした。		
	数値実績または効果							

具体的取組 11-2		指定管理者制度モニタリングの運用					重点	
取組内容		指定管理者制度を導入した施設について、指定管理者による施設管理の適正を期するため、町が求める達成水準を満たされているかなど、継続的に客観的な評価・検証を行う。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① モニタリングの実施による運営管理		○	→	→	→	→		企画係
期待する効果等		住民サービスの向上、適切な施設管理の推進						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績（内容）	ガイドラインに基づき評価・検証を実施	ガイドラインに基づき評価・検証を実施	ガイドラインに基づき評価・検証を実施	ガイドラインに基づき評価・検証を実施	ガイドラインに基づき評価・検証を実施		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 11 指定管理者制度の有効活用						
①	数値実績 または効果	R1評価 図書館:79点 ふれあいの里:75点 総合運動公園:90点	R2評価 図書館:91点 ふれあいの里:84点 総合運動公園:94点	R3評価 図書館:90点 ふれあいの里:90点 総合運動公園:95点	R4評価 図書館:91点 ふれあいの里:91点 総合運動公園:91点	R5評価 図書館:91点 ふれあいの里:92点 総合運動公園:91点 おんがみらいテラス:93

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用

具体的取組		12-1	事務の効率化・簡素化及び集約化					重点			
取組内容		コスト意識を徹底し、事務の効率化等を行うことにより経費節減を図るとともに、働き方改革にも繋げる。									
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当		
① 各種計画書の集約・簡素化・見直し必要性の検討		●		●	○	→	→	関係課			
② システム等事務の広域連携の検討		●		●	●	●	○	情報推進係			
③ 事務センターの設置検討		●		●	●	○	→	企画係			
④ 電子決裁の導入検討		●		●	●	●	○	庶務法制係			
⑤ 窓口手続きの簡略化		●		○	→	→	→	関係課			
期待する効果等		経費の節減、住民サービスの向上、事務の効率化									
年次計画		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度	
①	取組状況			実施○		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→	
	取組実績 (内容)			＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり基本構想・基本計画・実施計画について、自前で作成することで委託料を削減し、さらに基本計画を廃止するとともに、記載内容を簡略化するように努めた		＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実施計画に沿って事業を実施した		＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実施計画に沿って事業を実施した		＜社会教育係＞ 生涯学習まちづくり実施計画に沿って事業を実施した ＜子育て支援係＞ こどもに関する全般的な観点を盛り込んで、こども計画を作成した ＜福祉高齢者支援係＞ 遠賀町地域福祉計画等10個の計画をまとめるかたちで、R8年度作成を検討。	
	数値実績 または効果										
	取組状況							検討●		検討●	
②	取組実績 (内容)							ガバメントクラウド等への接続回線において、福岡県ノードを活用した接続を検討した。		＜情報推進係＞ 事務の広域連携を進めるためにも、職員の端末を番号利用系からLGWAN系に変更することを検討し、令和7年度に実施することとした。	
	数値実績 または効果										

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用

④	取組状況				検討●	検討●
	取組実績 (内容)				＜庶務法制係＞ 電子決裁の導入に向けて検討を行ったが、大元となる大きな方針のもと、決裁以外の他業務(支払業務等)と足並みをそろえて電子化を図らなければ、決裁のみ電子化しても効率化できないと判断。eGモデルの後継システム導入検討時まで、導入は見送る。	＜庶務法制係＞ 電子決裁の導入については、eGモデルの後継システム導入検討時まで、導入は見送る。
	数値実績 または効果					
⑤	取組状況	検討●	検討●	検討●	検討●	検討●
	取組実績 (内容)	＜企画政策課＞ 「ワンストップ窓口」など先進自治体の情報収集を実施	＜企画政策課＞ 先進自治体の情報収集を実施し、専門部会設置に向けて検討を行った	＜企画政策課＞ 先進自治体の情報収集を実施	＜企画政策課＞ 内部情報系パソコンのLGWAN接続への移行方針決定と無線化の検討を行った	＜企画政策課＞ 先進自治体の情報収集を実施
	数値実績 または効果					

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用

具体的取組		12-2	マイナンバー制度の活用					重点		
取組内容		マイナンバーカードの活用により、住民サービスの向上と事務の効率化を図る。								
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① マイナンバーカードを活用した住民サービスの検討		●	●	●	○	→	情報推進係 商工振興係 関係課			
② マイナンバーカード取得率向上の具体的方策検討		○	→	→	→	→	住民係			
③ コンビニ交付の推進		○	→	→	→	→	住民係			
期待する効果等		住民サービスの向上、事務の効率化								
年次計画		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度
①	取組状況	進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→
	取組実績 (内容)	＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出が不要		＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出が不要		＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出が不要		＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出が不要		＜建設課＞ 町営住宅入居時や収入申告時にマイナンバーの届出をすることにより、所得証明書の提出を不要とした。
	数値実績 または効果	H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略		H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略		H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略		H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略		H29より実施 収入申告対象者約100世帯分の所得証明書が毎年省略
①	取組状況	検討●		実施○		検討●		検討●		検討●
	取組実績 (内容)	＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用したプレミアム付き商品券事業について情報収集して検討		＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用しないキャッシュレスのプレミアム付き商品券事業を実施した		＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用した事業について情報収集を実施		＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用した事業について情報収集を実施		＜商工振興係＞ マイナンバーカードを活用した事業について情報収集を実施
	数値実績 または効果									
② ③	取組状況	実施○		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→		進捗管理→
	取組実績 (内容)	国の消費活性化策やカードを健康保険証として利用できることなど広報に掲載		介護保険被保険者証交付時や成人式にてチラシを配布し、取得率向上に努めた。また、窓口でのマイナンバーカードの案内と併せてコンビニ交付の案内も実施		各区にカードの普及促進及びコンビニ交付の案内チラシを回覧。また成人式等でチラシを配布。その他、人権フェスタ等に合わせて開庁し、カードの休日申請・交付を行った。		成人式等でチラシを配布。またこども祭りや得トクまつりでカードの休日申請受付を行った。その他、日曜日カードの休日交付を行った。		成人式等でチラシを配布。またこども祭りや得トクまつりでカードの休日申請受付を行った。その他、日曜日カードの休日交付を行った。
	数値実績 または効果	②交付枚数:2,178枚 (前年度:568件) ③コンビニ交付:315件 (前年度:141件)		②交付枚数:2,832枚 ③コンビニ交付:677件		②交付枚数:5,451枚 ③コンビニ交付:1,350件		②交付枚数:1,864枚 ③コンビニ交付:2,204件		②交付枚数:1,451枚 ③コンビニ交付:2,444件

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 12 事務の効率化とICTの活用									
具体的取組		12-3	新技術の導入検討					重点	
取組内容		既存システムの運用を効果的なものとするとともに、RPA・AI等の新たな技術の導入を検討し、住民サービスの向上と事務の効率化を図る。 ※RPA: ロボットによる業務自動化 (Robotics Process Automation) ※AI: 人工知能 (Artificial Intelligence)							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① RPA・AI導入の検討			●	●	●	●	○	企画係	
② 窓口申請システム化の検討			●	●	●	●	○	住民係 税務課	
期待する効果等		住民サービスの向上、事務の効率化							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	検討●						
	取組実績 (内容)	＜税務課＞ 新型コロナの影響により、展示会等に参加	＜企画政策課＞ 検討会議を設置し、RPA及びAIチャットボット等の研修会を実施						
	数値実績 または効果		RPA研修会:1回 AIチャットボット研修会:1回						
②	取組状況		検討●	検討●	検討●	実施○			
	取組実績 (内容)		＜企画政策課＞ 先進自治体の情報収集を実施し、専門部会設置に向けて検討を行った ＜住民係＞ LINEを活用した窓口申請システム説明会等に参加し情報収集を行った ＜税務課＞ 新型コロナの影響により、展示会等に参加。自治体システムの統一・標準化の中で今後検討	＜税務課＞ ふくおか電子自治体共同運営協議会主催の説明会に参加し、情報収集を行った。 ＜住民係＞ 自治体DXソリューションセミナー及びふくおか電子自治体共同運営協議会主催の説明会に参加し情報収集を行った	＜税務課＞ 情報誌から、先進自治体の取り組み事例について情報収集を行った ＜住民係＞ ふくおか電子自治体共同運営協議会や各事業者から資料入手し、情報収集を行った。	＜税務課＞ 定額減税調整給付金業務において、パソコンやスマホで24時間申請ができるようオンライン申請システムを導入した。 ＜住民係＞ ふくおか電子自治体共同運営協議会や各事業者から資料入手し、情報収集を行った。			
	数値実績 または効果					オンライン 申請率:55.8% 申請者数:878人			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 13 住民参加型のまちづくり

具体的取組		13-1	パブリックコメント制度の推進					重点	
取組内容		各種計画策定において、素案の段階から広く住民の声を聴き、協働のまちづくりを推進するため、パブリックコメントを実施しているが、統一的な基準や様式がないため、ガイドラインを策定する。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① パブコメガイドラインの策定			●	○	→	→	→	企画係	
期待する効果等		計画への住民参画、透明性ある行政運営							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績（内容）	パブリックコメント手続きのガイドラインを策定	ガイドラインに基づきパブリックコメントを実施した	ガイドラインに基づきパブリックコメントを実施した	ガイドラインに基づきパブリックコメントを実施した	ガイドラインに基づきパブリックコメントを実施した	ガイドラインに基づきパブリックコメントを実施した		
	数値実績または効果	R3から運用開始	実施件数:4件	実施件数:3件	実施件数:3件	実施件数:3件	実施件数:3件		

具体的取組		13-2	各種審議会等委員の充実と統廃合					重点	
取組内容		各種審議会、委員会等は住民の参画を得て広く住民の意見が反映される体制づくりが重要であるため、女性委員の割合や年齢構成等のバランスのとれた審議会等の構成とする。また、複数の委員を重複しないなど、多くの住民が行政に参画できる機会をつくるとともに、推薦団体の負担軽減を図る。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当	
① 委員構成の見直しと類似審議会の統廃合			●	●	○	→	→	関係課	
期待する効果等		町政への住民参画機会の拡充、推薦団体の負担軽減							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→			
	取組実績 (内容)	＜福祉人権係＞ ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施	＜協働人権係＞ ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施	＜協働人権係＞ ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施	＜協働人権係＞ ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施	＜協働人権係＞ ・女性の積極的登用を全職員に周知 ・子育て中の方が安心して参画できるよう、未就学児の無料託児実施			
	数値実績 または効果	・審議会等委員の女性割合：38.0%(県内6位) ・託児実績：0件	・審議会等委員の女性割合：38.2%(県内12位) ・託児実績：1件	・審議会等委員の女性割合：38.3%(県内10位) ・託児実績：2件	・審議会等委員の女性割合：38.0%(県内11位) ・託児実績：1件	・審議会等委員の女性割合：36.4%(県内16位) ・託児実績：0件			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 13 住民参加型のまちづくり

	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	検討●
①	取組実績 (内容)	＜高齢者支援係＞ あんしん地域づくり協議会の次期委員数を2名削減	＜福祉高齢者支援係＞ あんしん地域づくり協議会の委員数を2名削減	＜福祉高齢者支援係＞ 引き続き、審議会委員の男女割合等を考慮した構成とした	＜福祉高齢者支援係＞ 多くの関係団体の意見が反映されるよう考慮し委嘱した	＜福祉高齢者支援係＞ 各々策定している「地域福祉計画」、「高齢者保健福祉計画」、「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」等の計画と策定委員会を統合し推薦団体の負担を軽減する
	数値実績 または効果		11名→9名 民児協、町老連からの委員各1名減		新たに委嘱した2協議会・1委員会へ16団体が参画	
①	取組状況		実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)		＜農業推進係＞ ・遠賀町農業振興地域整備促進協議会委員を12人から12人以内に要綱変更 ・遠賀町農業支援対策検討委員会委員を20人以内から15人以内に要綱変更			
	数値実績 または効果		・委員数12人⇒9人 ・委員数15人⇒11人			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 13 住民参加型のまちづくり

具体的取組		13-3	町事業の提案公募型事業への移行検討と既存事業の自立					重点	
取組内容		町が実施している事務事業の中から住民等が主体となり得る事業をがんばる地域まちづくり事業の提案公募型事業への移行を検討することにより、主体的な住民参加型のまちづくりを行う。また、基金残高を見据えた既存事業の自立のあり方を検討する。							
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6	担当
① がんばる地域まちづくり事業のあり方検討(7-1再掲)		●		●	○	→	→	協働人権係	
期待する効果等		主体的な住民参加型のまちづくり、シビックプライドの醸成							
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度			
①	取組状況	検討●	実施○	進捗管理→	進捗管理→	見直し→			
	取組実績 (内容)	限りある財源で最大限の効果が得られるよう、今後のあり方(補助率や採点方法の見直し等)を検討	新たに要綱を制定した。補助上限額、採点方法の見直しのほか、行政提案型事業を創設した	昨年度制定した要綱に基づいて実施した。行政提案型のメニューを増やした。	一昨年度制定した要綱に基づいて実施した。行政提案型のメニューを増やした。	一昨年度制定した要綱に基づいて実施した。行政提案型のメニューに「60周年」を増やした。来年度以降、持続可能かつ応募しやすい制度設計を目指し、補助上限額や審査会の時期などの変更を行った。			
	数値実績 または効果	実施事業:1件 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4	実施事業:0件(中止1件) 要綱の見直し:R3 改正後の要綱で事業実施:R4	実施事業:4件 (提案公募型2件・行政提案型1件・大規模イベント事業1件)	実施事業:6件 (提案公募型2件・行政提案型3件・大規模イベント事業1件)	事業実施件数:13件 (提案公募型1件・行政提案型11件・大規模イベント事業1件)			

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 14 地域コミュニティを核とした安心安全なまちづくり

具体的取組		14-1 防犯パトロール					重点
取組内容		防犯パトロール等をはじめとする住民と行政が一体となって取り組む事業の継続により、住民の町政への参加を促進し、協働のまちづくりをすすめる。					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① 地域安全パトロールの実施		○	→	→	→	→	社会教育係
② 自治防犯組合によるパトロールの実施		○	→	→	→	→	防災安全係
③ 青パトロール車による防犯パトロールの実施		○	→	→	→	→	全課
期待する効果等		住民参加のまちづくり、犯罪の未然防止					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績（内容）	新型コロナの影響で職員のみでパトロールを実施	学校の長期休み中に地域安全パトロール実施	学校の長期休み中に地域安全パトロール実施	学校の長期休み中に地域安全パトロール実施	学校の長期休み中に青少年安全パトロール(R5.11名称変更)実施	
	数値実績または効果	実施回数:3回	地域安全パトロール8回	地域安全パトロール8回	地域安全パトロール6回	青少年安全パトロール5回	
②	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績（内容）	新型コロナの影響で未実施	新型コロナの影響で未実施	新型コロナの影響で未実施	自治防犯組合による青パト防犯パトロールの実施	自治防犯組合による青パト防犯パトロールの実施	
	数値実績または効果				青パト防犯パトロール2回	青パト防犯パトロール2回	
③	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績（内容）	＜社会教育係＞ 新型コロナの影響で学校の休校中や夏休み期間中や登下校の時間帯に集中的に実施	＜社会教育係＞ 町内の不審者情報発生時に追加でパトロール実施	＜社会教育係＞ 町内の不審者情報発生時に追加でパトロール実施	＜社会教育係＞ 町内の不審者情報発生時に追加でパトロール実施 ＜防災安全係＞ 防犯組合登録団体による青パト防犯パトロールの実施	の実施 ＜社会教育係＞ 町内の不審者情報発生時に追加でパトロール実施 ＜防災安全係＞ 防犯組合登録団体による青パト防犯パトロール	
	数値実績または効果	実施回数:157回	実施回数:4回	実施回数:6回	＜社会教育係＞ 実施回数:9回 ＜防災安全係＞ 実施回数:7回	＜社会教育係＞ 実施回数:14回 ＜防災安全係＞ 実施回数:11回	

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 14 地域コミュニティを核とした安心安全なまちづくり

具体的取組		14-2 防災対策の充実					重点	★
取組内容		地域住民が自主的・継続的に自主防災活動を行い、災害による被害が軽減でき、誰もが地域で安心して暮らせるよう地域防災力を強化する。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→		R2	R3	R4	R5	R6
① 毎年全地区での防災訓練実施の継続		○		→	→	→	→	防災安全係
期待する効果等		住民参加のまちづくり、地域防災力の強化						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	・新型コロナの影響で訓練未実施だが「防災啓発放送」を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進	・一斉避難訓練は未実施だが「防災啓発放送」を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進 ・ハザードマップ説明会を実施	・全地区で一斉避難訓練を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進 ・ハザードマップ説明会を実施	・全地区で一斉避難訓練を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進 ・町内在住・在勤の防災士による活動の活性化及び組織化協議の実施	・全地区で一斉避難訓練を実施 ・町が助成し、防災士の資格取得を推進 ・町内在住・在勤の防災士による活動の活性化を図るべく、防災士主催のイベントを実施		
	数値実績 または効果	・各家庭での備蓄品等を確認する事、防災意識の向上を図った ・町内在住、在勤者7名が資格を取得	・各家庭の備蓄品を確認する等、防災意識の向上を図った ・町内在住3名が資格を取得 ・8地区で実施	・参加者1,466名 ・町内在住10名が資格を取得 ・15地区で実施	・参加者1,279名 ・町内在住5名が資格を取得 ・会議：1回	・参加者1,382名 ・町内在住11名が資格を取得 ・イベント企画会議：5回 ・イベント：1回		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 15 多様な担い手の発掘と支援

具体的取組		15-1 地域活動に対する支援					重点	★
取組内容		地域の課題が多様化・高度化する中で、地域内での連携・協力によって課題解決ができるよう支援する。また、地域活動において多様な担い手を発掘・支援するための取り組みの推進と自治会加入者の減少などに対する加入促進対策等についても連携して取り組む。						
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6	担当
① 多様な担い手発掘の先進事例紹介		●	○	→	→	→	協働人権係 関係課	
② 自治会加入対策及び地域活動の先進事例紹介		●	○	→	→	→	庶務法制係	
③ 多様な担い手同士の連携・協力方策の検討		●	●	○	→	→	協働人権係 関係課	
期待する効果等		協働のまちづくり、地域コミュニティの強化						
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	＜社会教育係＞ 継続して活動しているボランティア団体へ助成制度を紹介	＜社会教育係＞ 継続して活動しているボランティア団体へ助成制度を紹介 1団体 表彰推薦 2団体	＜社会教育係＞ 継続して活動しているボランティア団体へ助成制度を紹介 1団体(えがお食堂) 表彰推薦 なし	＜社会教育係＞ 該当なし	＜社会教育係＞ 該当なし		
	数値実績 または効果	2団体が助成決定 助成額:680千円	1団体助成決定 助成額:290千円 1団体文部科学大臣 表彰受賞	1団体助成決定 助成額:250千円				
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→		
	取組実績 (内容)	＜福祉人権係＞ 町や地域に関わることを自分ごととして捉え、主体的にまちづくりや地域活動に参加する住民を増やすため、広報おんがに啓発記事を掲載	＜協働人権係＞ 多様な担い手を発掘するため、積極的に地域活動に参画されている方にインタビュー等を行い、広報おんがに啓発記事を掲載	＜協働人権係＞ 多様な担い手を発掘するため、介護保険交付会で啓発記事「地域デビューのすすめ」を配布、紹介を行う。広報で地域活動に関する記事を掲載。	＜協働人権係＞ 多様な担い手を発掘するため、「地域活動・ボランティアスタート講座」を開催。興味を持っている人や活動している人のつながりの場となった。	＜協働人権係＞ 多様な担い手を発掘するため、介護保険交付会で啓発記事「地域デビューのすすめ」を配布、紹介を行う。「地域活動ボランティアしてみませんか」のチラシを作成。		
	数値実績 または効果	啓発記事2回掲載 (男女共同参画特集、WISH)	啓発記事5回掲載 (男女共同参画特集、WISHほか)	啓発記事2回掲載 介護保険交付会12回	啓発記事2回掲載 介護保険証送付時に同封12回・講座1回	介護保険交付会12回		

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 15 多様な担い手の発掘と支援						
②	取組状況		実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)		地域住民が自治会活動へ主体的に参加するよう、広報おんがに啓発記事を掲載 また、住民課窓口において転入者へ自治会加入促進チラシを配布	地域住民が自治会活動へ主体的に参加するよう、広報おんがに啓発記事を掲載 住民課窓口において転入者へ自治会加入促進チラシを配布 区長を対象とした課題抽出のためのアンケートを実施し、全区長に共有するとともに、役員会等において加入率低下に対する対策や役員の負担軽減について検討を行った	地域住民が自治会活動へ主体的に参加するよう、広報おんがに啓発記事を掲載 住民課窓口において転入者へ自治会加入促進チラシを配布 町内で先進的な取組を行っている区の区長に郡区長会連合会で事例紹介を行っていただく等、先進事例の横展開を図った	地域住民が自治会活動へ主体的に参加するよう、広報おんがに啓発記事を掲載 住民課窓口において転入者へ自治会加入促進チラシを配布
	数値実績 または効果	自治会加入率 88.12%	自治会加入率 84.54% 啓発記事1回掲載 転入者へのチラシ配布	自治会加入率 85.57% 啓発記事1回掲載 転入者へのチラシ配布	自治会加入率 81.10% 啓発記事1回掲載 転入者へのチラシ配布	自治会加入率 82.48% 啓発記事1回掲載 転入者へのチラシ配布
③	取組状況		実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→
	取組実績 (内容)		＜協働人権係＞ 「地域はあなたの力を必要としている」をテーマに講座を実施。講座後半では実際に地域活動にご尽力いただいている方へのインタビューを行いながら参加者全員で地域活動について考える場とした。	＜協働人権係＞ 関係部署と社会福祉協議会でボランティア連絡会を開催。情報交換を行う。 みんなの夢応援プロジェクト事業報告会・交流会を実施し、地域活動に参画されている方同士の横のつながりを深める機会とした。	＜協働人権係＞ 関係部署と社会福祉協議会でボランティア連絡会を開催。情報交換を行う。 みんなの夢応援プロジェクト事業報告会・交流会を実施し、地域活動に参画されている方同士の横のつながりを深める機会とした。	＜協働人権係＞ 関係部署と社会福祉協議会でボランティア連絡会を開催。情報交換を行う。 みんなの夢応援プロジェクト事業報告会・交流会を実施し、地域活動に参画されている方同士の横のつながりを深める機会とした。
	数値実績 または効果		実施:1回	実施:2回	実施:2回	実施:2回

第4期遠賀町自立推進計画行動計画

推進項目 15		多様な担い手の発掘と支援					
具体的取組 15-2		出前講座の推進					重点
取組内容		町の事業や制度などを紹介し、住民の町政への理解や関心を深め、これからのまちづくりについて住民と一緒に考える出前講座の取り組みを継続する。また、住民ニーズの把握と内容の充実に努める。					
		検討● 実施○ 進捗管理・効果検証・見直し→	R2	R3	R4	R5	R6
① 住民ニーズの把握と内容の充実		○	→	→	→	→	協働人權係
期待する効果等		協働のまちづくり					
年次計画		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
①	取組状況	実施○	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	進捗管理→	
	取組実績（内容）	各課においてメニューの見直しを実施	各課においてメニューの見直しを実施	各課においてメニューの見直しを実施	各課においてメニューの見直しを実施	各課においてメニューの見直しを実施	
	数値実績または効果	新規メニュー：2講座 開催数：5講座	新規メニュー：3講座 開催数：18講座	新規メニュー：5講座 開催数：28講座	新規メニュー：13講座 開催数：25講座	新規メニュー：5講座 開催数：24講座	